

文部科学省推進事業 2018 年度「高等学校における次世代の学習ニーズを踏まえた指導の充実事業」
『支援を要する子どもたちに対しての就労支援の取り組み研究』報告書

本研究は 2017 年度「多様な学習を支援する高等学校の推進事業」の『支援を要する子どもたちに対しての就労支援の取り組み研究』の 2 年目の取り組みとして、3 年目（2019 年度）の完成年度を見据え今年度の研究をおこなう。

①第 1 回検討会議を 2018 年 9 月 28 日（金）10 時 00 分から 12 時 00 分

八洲学園高等学校 横浜分校にて実施。

【実施内容】

- (1)校長挨拶
- (2)2018 年度の取り組み内容の確認・今年度の取り組み予定の説明
- (3)外部アドバイザー・八洲学園高校担当者、その他教員紹介
- (4)検討会議
 - 八洲学園高等学校より研究案実施報告（堺）
 - 外部アドバイザーからの助言
 - その他
- (5)出席者名簿

氏名	現職
伊藤 京子	公立学校共済組合関東中央病院 精神科精神保健福祉士 作業療法士
東鬼 裕子	スクールソーシャルワーカー、就労支援コーディネーター
林尻 悟	一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構 代表理事
松隈 信一郎	(株)マイルストーン代表
森下 優子	立正大学キャリアカウンセラー
吉田 稔	一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構 施設長兼サービス管理責任者
林 周剛	八洲学園高等学校 校長
多田 浩之	八洲学園高等学校 教頭
南條 将範	八洲学園高等学校 教頭
五味 美和	八洲学園高等学校 進路指導部長・町田分室兼みのり高等部主任
花田 久仁彦	八洲学園高等学校 教務部長

吉田 洵	八洲学園高等学校 教諭
寺西 美加子	八洲学園高等学校 教諭
熊谷 憲子	八洲学園高等学校 横浜分校主任
豊田 のぞみ	八洲学園高等学校 教諭
岩谷 彰太	八洲学園高等学校 教諭
東野 優希	八洲学園高等学校 教諭
奥村 文菜	八洲学園高等学校 教諭
三谷 愛美	八洲学園高等学校 教諭
石塚 理恵	八洲学園高等学校 総務部長・池袋キャンパス主任
平井 美穂	八洲学園高等学校 生徒指導部長
木本 美奈子	八洲学園高等学校 教諭
土屋 しのぶ	八洲学園高等学校 新宿キャンパス主任



【関西実施報告内容】 報告者 寺西美加子教諭

毎週火曜・木曜平均週 3 時間 40 時間（前期） / 40 時間（後期）

初めに 2017 年度に取り組んだ研究内容を再度確認し、2018 年度に取り組む内容と年間のスケジュールの確認をおこなった。次に 2017 年度の取り組みで完成した 2017 年度案をもとに実施した 2018 年度前期の実施報告をおこなった。

以下、下表の左側は 2017 年に作成した予定案、右側は実際の生徒の様子を見ながら現場での判断を加えながら実際に実施した 2018 年度前期の実施案である。2018 年度の取り組みは、本研究の 1 年目の労働者・採用される側の体験を通し、慣れるまで反復練習をおこなうことで、苦手意識を克服し、その活動の中で自己肯定に繋げていくということを目指しておこなった。

2018 年度 前期実施予定案			2018 年度 前期実施内容		
1	座学	学習スケジュールの確認	1	座学	自己紹介・今後の流れ説明・1 年間の目標作成→発表
2	座学	働く意味を学ぼう ・何のために働くのか ・経済の仕組み	2	座学	自分の歴史
3			3	体験	これからの未来
4			4	座学	日々の行動から職業興味を考えよう
5			5	座学	生き方・働き方を考えよう
6			6	座学	自分の長所を見つけよう
7			7	座学	職業を知る
8			8	座学	職業を知る
9			体験	名刺作り	9
10	10	体験			職業を知る（まとめ）
11	体験	名刺交換練習	11	座学	お金を使う
12	キャリアカウンセリング		12	座学	マネープラン
13			13	座学	マネープランまとめ・正社員とフリーター
14	座学体験	就職活動の方法と流れ	14	体験	面接マナー・挨拶
15	体験	企業説明会参加準備 ・電話での申し込み ・挨拶練習 ・企業研究	15	体験	面接練習
16			16	座学	就職までの流れ確認・今後の流れ説明
17			17	座学	求人票の見方
18			18	座学	求人票の見方続き・現状分析

19			19	体験	ストレス度チェック ストレスマネジメント
20			20	体験	コミュニケーションスキル
21	体験	企業説明会最終準備	21	体験	文書・チラシ作成
22	体験	企業説明会	22	体験	文書・チラシ作成
23	体験	企業説明会参加回顧	23	体験	会社名決定・履歴書の作成
24	体験	回顧発表会	24	体験	志望動機の手書き方・履歴書完成
25	キャリアカウンセリング		25	体験	履歴書発送
26	キャリアカウンセリング		26	体験	採用試験対策 ビジネスマナー (席次と挨拶)
27	座学	採用試験準備開始	27	体験	採用試験対策 ビジネスマナー (敬語)
28	体験	履歴書作成	28	体験	採用試験対策
29			29	体験	採用試験対策
30	体験	応募書類作成・発送	30	体験	採用試験対策
31	体験	面接練習	31	体験	名刺
32	体験	面接練習	32	体験	名刺
33	体験	面接練習	33	体験	採用試験対策
34	体験	面接練習	34	体験	採用試験
35	体験	筆記試験対策	35	ケア	キャリアカウンセリング
36	体験		36	ケア	キャリアカウンセリング
37	体験	業務体験	37	体験	お茶の入れ方・出し方
38	体験	業務体験	38	体験	インタビュー
39	座学	まとめ	39	ケア	キャリアカウンセリング
40	座学	まとめ	40	座学	内定通知書・前期まとめ

2018年度前期に実施した内容の詳細は以下の通りです。

1	<p>高校生活で頑張りたいこと・目標（勉強・学校行事・放課後の活動）を記載させ、1人ずつ発表した。雰囲気も良く、一人一人しっかり発言する事ができていた。体力がないので、体力をつける、遅刻や欠席をせず、学校にしっかり通う、という目標が目立った。プリントはそれぞれファイリングさせて、ファイルは回収した。</p>
---	--

2	担当教諭の27年間の歴史をPPで解説した。プラス思考の思い出がなかった。自分開こうとするためにマイナス考えを皆で言い合えたということは大きな進歩だと思った。
3	10年後、20年後、30年後等、それぞれが思い描く人生像について考えた。
4	高校卒業後の進路について考えた。
5	生き方・働き方・働く意味に関して、意見交換をした。
6	自分の長所について考え、今までの生き方を振り返った。自分のアピールポイントについて、各々まとめ発表した。
7	様々な種類の職業について調べ、学習した。
8	興味を持った職業を1つ選び、各自詳細を調べた。調べた事を発表。
9	職種の分類(11種)を一つ一つ確認し、どんな仕事があるか、やりがいや大変なところ、自分には何が向いているか、またその仕事につくには、今何をすべきか話しあった。
10	3時間のまとめ：発表形式
11	生活の中でのお金の流れを知るとともに、家計について学び、支出の割合について、意見交換をした。アルバイトをする中での経験や感じた事も話してくれた生徒も現れた。税金や社会保険の話にもふれた。
12	前回の続き。家計のバランスについて。生まれてから今までの人生で支出しているであろう費用を概算した。こんなにもお金がかかっているのに、このままで良いのかとショックを受けている様子であった。
13	正社員とフリーターの違い、税金や社会保険の話の続き、社会人になると必要になるお金の基本的な知識を整理した。時間が少しあまったため、自分の長所と短所について、以前途中になっていたプリントに取り組んだ。
14	面接マナーと挨拶。挨拶練習。
15	面接時に答える質問の回答を考えた。模擬面接を実施。
16	高卒求人・一般求人の就職までの流れを確認。また、今後の八洲設立の会社への入社計画を説明した。会社名を募集中。
17	求人票の見方説明。実際の求人票を何社かみて、どういう条件を個人的に重視したいか、譲れない点は何か、話し合った。
18	前回の続き。進学希望の生徒は、現状分析、将来の目標に向けて、今から何ができるのか、何をすべきか、整理して共有した。
19	ストレス度チェック。ストレスがなぜ起きるのか、ストレスの原因や解消法等、各々話し合った。
20	ペアになり互いにインタビュー。中には消極的な生徒をひっぱって進めてくれる生徒も現れた。
21	耐震工事チラシづくり (word)
22	耐震工事チラシづくり (word)

23	疑似会社名は、『株式会社 eight sandbar (エイトサンドバー)』に決定した。eight は八洲の八、sandbar は英語で洲。履歴書の書き方、ルール等説明。
24	志望動機の書き方を説明、実践。今回は疑似会社のため、求人票の内容と志望動機書き方見本をみながら、協力して作成した。
25	封書の書き方や郵便の送り方など、実際に記入しながら説明した。切手の種類の多さや第4種の存在に驚いていた。発送準備まで完了。
26	採用試験の案内を渡した。採用試験落ちたらどうなるんですか？と質問があった。6月中に面接と簡単な筆記試験を実施予定。筆記試験は、採用試験対策の授業で学ぶビジネスマナーから出題すると伝えた。席次についての問題を解きながら、回答の理由を一人ずつ発表させるなど、コミュニケーションに重きをおき、進めた。
27	敬語について。敬語+ことばづかい等。
28	採用試験のための、面接対策を行った。
29	採用試験のための、面接対策を行った。
30	面接対策を中心に行った。①あなたの通っている高校はどんな学校ですか。②高校時代、一番の思い出はなんですか。③どんな社会人になりたいですか。の3問を中心に考えた。色々アイデアはでたが、なかなか文章にすることが難しく、苦戦しながら作成した。採用試験は、6月28日(木)に決定。
31	名刺の渡し方、名刺作り 名刺の持ち方、渡し方について学んだ。特に氏名の所を持ってしまうと、失礼にあたる点が驚いていた。
32	ロールプレイング 実際に名刺を受けとる側、渡す側にわかれた。最初は戸惑っていたが、慣れるにつれてスムーズな渡し方・受け取り方になった。
33	模擬面接。流れの確認と反復練習をおこなった。2人で、ホワイトボードに、面接で忘れがちなことを書き出して、面接中にみることができるようになっていた。
34	採用試験。面接の本番は、みんな緊張していたが、しっかり話すことができていた。筆記試験も本番同様入室から退室まで取り組んだ。終了後、振り返りをおこなった。大阪弁がでることとにやにやしてしまったこと、椅子の座る流れを完全に忘れていたことなどが感想として挙げられた。少し時間があまり、会社のロゴマークを作成したいと提案があったので、作成を開始した。現在、作成中。 7月12日に内定通知を渡す。次回の授業は、キャリアカウンセラーの特別授業と伝えている。
35	①一人ずつ自己紹介(教卓の前に立ち、2~3分間スピーチ)→その後、スピーチをする時の気持ちのシェアを行った。②以前藤井先生の授業で作成した名刺を用い、名刺交換。③3か月の学びの中で気が付いた事、印象に残っている事等話し合った。
36	3限③の続きから。③“働く”“仕事する”ことにどんな風を感じるか、話し合った。②③ともに小島先生の講義と並行しながら進行。頭の中を整理しながら、しっかり言葉にすることができていた。

37	<p>実際にお茶の入れ方の動画をみながら、みんなでお茶をいれてみた。また、ロールプレイでお客様とお茶を出す人に分かれて、入室から退室まで、反復練習した。思ったよりも難しいと感じることもあった様子であったが、終始助け合いながら楽しそうであった。Cさんが修学旅行のお土産をAさん、Bさんに買ってきて渡しながらかお土産話をしている姿をみて、心が和みました。</p>
38	<p>実際に社会で働いている方に話を聞いてみようということで、今回は堀田事務長、清水さん、大東先生にそれぞれ生徒が約15分間インタビューをおこなった。インタビュー前後で挨拶や自己紹介、お礼をいうことも皆しっかりできていた。インタビュー後に内容を共有したが、皆学びがあった様子で、それぞれ学んだ事、今後実践したいこと等、話し合った。</p>
39	<p>①一人ずつ教卓の前で90秒スピーチ。みんな前回よりリラックスして、話すことができていた。②前回のキャリアカウンセリングの続き。</p>
40	<p>今までの復習を○×形式のクイズを用い復習した。ビジネスマナーの報告・連絡・相談の仕方に関しては、複数質問がでた。内定通知書を渡した。ロゴマーク作りの続きをしたい様子で、最後の10分間は様々な会社のロゴマークをみながら検討していた。</p>

出来るだけ予定案を実施するつもりでおこなっていたが、支援を要する生徒の精神状態は常に安定するものではなく、授業に入るまでの導入部分に多くの時間を費やす結果となった。また、個別での対応もその都度必要な状況で、こちらの予定通りおこなうことはなかなか難しい状況があった。しかし、その反面通常の授業とは異なり、学校のペースではなく、生徒の様子によっては予定より時間をかけたり、内容を優しくしたりなど、生徒にとって無理の無い授業づくりをしたことで、全員が何らかの形でこの取り組みに関わることができた事は大きな収穫だった。キャリアカウンセラーとの授業づくりも有意義で、教員の視点のみでは見えなかったものやアプローチの仕方を学ぶことができた。支援を要する生徒たちは、何らかの課題を抱えている生徒でその課題は複数あるのが当たり前の状況があり、授業で導く前におこなうべきことは多く、この点は後期案に積極的に入れていく必要があると強く感じた。担当教諭の努力もあり、何とか予定案から大きくそれること無く実施することができた。

以下、授業風景（インタビューとお茶）の写真。



前期の実施内容を踏まえ見直した後期実施予定案

後期実施予定初案			後期実施2案			
1年目			実施内容			
			備考			
41	体験	入社準備	41	体験	入社準備	オリエンテーションも含め、後期の進め方を確認する。
42	体験	入社式参加	42	体験	入社式参加	
43	体験	自己紹介/他己紹介	43	体験	入社後の研修①（電話のかけ方）	前期の復習をしながら、入社後の新人研修として実施する。他の教員にも協力を依頼。
44			44	体験	入社後の研修②（メモを取る）	
45			45	体験	入社後の研修③（名刺交換）	
46			46	体験	入社後の研修④（来客対応）	
47	座学	一般常識	47	ケア	キャリアカウンセリング①	必要に応じて、個別相談も取り入れる。
48	体験	親睦会参加	48	ケア	キャリアカウンセリング②	
49		キャリアカウンセリング	49	座学	一般常識学習	
50			50	座学	業務受注、業務内容など確認	
51	座学	業務受注、業務内容など確認	51	座学	役割分担、スケジュール確認	
52	座学	役割分担、スケジュール確認	52	体験	業務開始①	最初は、学校内の事務センターで、事務作業中心の業務依頼を考えている。タイムカードの使用、コピー機や折り機の使用や郵便業務、シュレッダーの使用、整理整頓、軽作業等。業務の最後に、自分自身の振り返りの時間を作る。最後の時間は、ハンコ作りを検討している。
53	体験	業務開始1	53	体験		
54			54	体験		
55			55	体験		
56			56	体験		
57	座学	給与勉強会（使用/運用/貯金について学ぶ）	57	座学	業務①回顧	良かった点、反省点、改善点など、共有する。
58	体験		58	座学	給与支給/給与勉強会	給与支給後、使用・運用・貯金について学ぶ。
59	座学	給与支払い/八洲口座開設	59	座学	銀行の役割/口座の作り方	
60	体験		60	体験	八洲銀行に口座開設	
61	体験	業務開始2	61	体験	業務開始②	現在検討中。
62			62	体験		
63			63	体験		
64			64	体験		
65	座学	社会常識の勉強会	65	座学	業務②回顧	良かった点、反省点、改善点など、共有する。
66	体験		66	座学	冠婚葬祭マナー学習	
67		キャリアカウンセリング	67	ケア	キャリアカウンセリング③	必要に応じて、個別相談も取り入れる。
68			68	ケア	キャリアカウンセリング④	
69	体験	業務開始3	69	体験	業務開始③	現在検討中。
70			70	体験		
71			71	体験		
72			72	体験		
73			73	体験		
74			74	体験		
75	体験	退職手続き	75	座学	業務③回顧	良かった点、反省点、改善点など、共有する。
76	体験	疑似通貨の清算	76	ケア	キャリアカウンセリング⑤	必要に応じて、個別相談も取り入れる。
77	体験	お別れ会	77	座学	社会常識学習	
78	体験	お別れ会	78	体験	退職願作成/疑似通貨の清算	
79		まとめ	79	体験	お別れ会	
80		まとめ	80		1年間の総まとめ	

②第2回検討会議を2018年12月14日（金）9時00分から11時00分

八洲学園高等学校 横浜分校にて実施。

【実施内容】

(1)校長挨拶

(2)勉強会報告

(3)図書購入・研修報告

(4)検討会議

○八洲学園高等学校より研究案実施報告（横浜・堺）

○外部アドバイザーからの助言

○その他

(5)出席者名簿

氏名	現職
東鬼 裕子	スクールソーシャルワーカー、就労支援コーディネーター
林尻 悟	一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構 代表理事
松隈 信一郎	(株)マイルストーン代表
森下 優子	立正大学キャリアカウンセラー
吉田 稔	一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構 施設長兼サービス管理責任者
林 周剛	八洲学園高等学校 校長
吉田 士文	八洲学園高等学校 教頭
多田 浩之	八洲学園高等学校 教頭
南條 将範	八洲学園高等学校 教頭
五味 美和	八洲学園高等学校 進路指導部長・町田分室兼みのり高等部主任
花田 久仁彦	八洲学園高等学校 教務部長
吉田 洵	八洲学園高等学校 教諭
寺西 美加子	八洲学園高等学校 教諭
石塚 理恵	八洲学園高等学校 総務部長・池袋キャンパス主任
福永 加奈江	八洲学園高等学校 総務部長・梅田キャンパス主任
大本 真梨子	八洲学園高等学校 教務部長・大阪中央校主任
山口 剛	八洲学園高等学校 生徒指導部長
堀 梨沙	八洲学園高等学校 進路指導部長
土屋 しのぶ	八洲学園高等学校 新宿キャンパス主任
熊谷 憲子	八洲学園高等学校 横浜分校主任

第2回検討会議では、通年ではない単発の取り組みを報告し、外部アドバイザーより助言をいただいた。この単発の取り組みは、将来的に通年の取り組みに合流するためのもので、試験的要素を多く含んだ取り組み内容である。以下報告は、関東横浜分校、堺本校での取り組み報告となる。

【関東実施報告内容】 報告者 五味美和教諭

第1回キャリア学習 (全3回)

実施日時 2018年10月11日(木) 5限 14:00~14:50

出席者 1~3年合同、出席人数:14名

担当 五味美和(教諭)、森下優子(キャリアカウンセラー)

ねらい

- 1、自分と他人の違いを知る
- 2、他人との関り方がわからない生徒が多いので、基本的な人との関りを学ぶ
- 3、他者から見た自分を知り、自己肯定感を高める
- 4、人前で話すことが苦手な生徒が多いため、話すことに少しでも自信を持てるようにする

指導案: 本時の展開

段階	時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価
導入	5min	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいと実施内容の説明 ・心理テスト(アイスブレイク) 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめての実施で警戒する生徒もいるため、楽しい雰囲気を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・心理テストに参加しようとしているか
展開	10min ~ 15min	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルスペース 1、教員による説明・見本 3、生徒が順番に体験 ・合わせ鏡 1、2名1組で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にどのくらいの距離まで近づくと不快になるかを確認する ・相手の手の動きにあわせて動いてみることで合わせる方も合わせてもらう方も一体感が出てくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・距離感がつかめるか ・一体感を感じることができるか
	20min ~ 25min	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプリメントシャワー 1、用紙の配布 2、注意点含めて説明 3、書いたら順番に回す 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の名前を書いた紙をど んどん右隣の人に回して、 良いところなど書いてもら う 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の良さを再認識する

まとめ	10min	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り ・課題(ボイストレーニング)説明 	A 4サイズ用の紙に短い文章が書かれたもの(滑舌トレーニングの簡易版)2枚を渡し毎日トレーニングするように勧める。次回1月までの宿題として渡す。注意事項もあるので確認しながら渡す。	・毎日同じ文章を繰り返すことで、声に自信がない、あるいは、話すことに自信がない生徒のトレーニングになる。
-----	-------	---	--	--

実施後の振り返り

【パーソナルスペース】

グループに分けるか全体で実施するか実施直前まで迷ったが、初めてのキャリア学習ということもあり、全体で実施した。教員での実演を見本として最初に見せたが、個々での目的である「他人との距離感」について、しっかり打ち合わせを行っていなかったため、教員によっては、かなりの至近距離でも全く問題ない教員もいて、生徒の実演の際にも頑張っただけ近づいてしまう生徒がいたこと、また、実際には距離感掴めていない生徒でも自分は人との距離は全く問題ないと思ってやらない生徒も出てしまった。次回は主旨をきちんと説明し、見本の実演でも近すぎるのが不快を感じるようになるような見せ方が必要、また数人のグループ分けをして皆が参加できるようにする必要があると感じた。前向き・横向き・背後からなど関係性もあるが、特に慣れていない人同士だと近い距離で不快に感じることを体感させる必要がある。

【合わせ鏡】時間がなく実施見合わせ

【コンプリメントシャワー】

注意点として、悪口は絶対に書かないことを徹底できたのは良かった。自分の右側に座っている人に回していく形を取ったが、ゆっくり書く生徒もいたため一人の生徒のところにたまってしまうこともあったので配慮が必要であった。成功体験が少なく、自己否定する生徒が多いので、自分の用紙が戻ってきて褒められていることばを見て思いの外安心した様子であった。

【ボイストレーニング練習シート】

実際の用紙の文字の文良が比較的多めだったので実際にできる生徒も少ないように感じる。

【全体】全体通しての感想など書かせる時間がなかったので次回から取ったほうが良いと感じた。

第2回は以下の内容を予定している。

- ・ 振り返り
 - ① 滑舌トレーニングの確認
 - ② パーソナルスペース（復習）
- ・ 聞き手の位置や視線などの体験
- ・ バウムテスト
- ・ 色カード心理テスト

【関西実施内容報告】 報告者 吉田洵教諭

○実施内容：電話のかけ方

○実施日：6月19日（火）、6月19日（火）、10月18日（木）11月2日（金）、12月3日（月）

○出席者：13名・12名・2名・7名・5名

○場所：堺本校

○実施内容：初めにプリント学習で電話対応の知識（マナーなど）を学習し、次の時間に準備した台詞にそって会話実践をした。（別紙資料②）

【生徒の様子】 生徒Dさん

〔今年はじめて集団授業を受けることができるようになった生徒〕

以前にアルバイト経験有り。終始緊張はしていたが、内容をしっかり把握し、一連の流れを練習することで自信に繋がり、スムーズに会話をする事ができた。途中から質問が増えたりなど、積極的に発言があった。本人は今回の実践に、できていることを実感し喜んでいた。

【生徒の様子】 生徒Kさん

〔抗うつ薬服用。昨年9月、精神障がい者手帳取得〕

初めての体験で、終始緊張をしている様子であったが、何度も練習をすることによって少しずつ自信につながり、スムーズに会話をする事ができた。初めは小さな声で、相手は聞きにくかったが、次第に声量も出てきて、相手もスムーズに対応する事ができた。

○生徒たちの反応

- ・ 語尾を伸ばす癖が

あるが、何度も練習をすることで直す事ができた。

- ・ 初めは、暗い雰囲気であったが、実践を通して明るい表情も出てくるようになった。
- ・ 緊張していたり、不安があっても、何度も練習をすることでスムーズに話す事ができた。
- ・ 明るく元気にとまではいかないが、慣れてくると声量も大きくなってきた。

アルバイトの採用面接のアポイントを取る設定。3人グループになり、「雇用希望者」「電話受付」「採用担当者」の役を決め、こちらで用意した内容や台詞にそって会話を進めた。実際にキャンパス内の電話と携帯電話を使用し、臨場感を出した。

【生徒の様子】生徒Aさん

アルバイトの採用面接の電話をかける役で実践練習。実際にアルバイトをまだ経験したことがなかったため、電話をかけることも初めてだった。台本を読みながら面接依頼の電話をかけ、担当者（教室内にいる生徒）と最後まで話のやり取りができた。少し声が小さかったため、教室内にいる他の生徒には聞こえづらかったようだ（スピーカー通話）。

○生徒たちの反応

- ・アルバイトをしている生徒もいたため、「採用面接のアポイントを取る」という内容は取り組みやすそうだった。
- ・実際の電話を使用するとなると緊張している生徒が多く見られ、良い刺激になった。
- ・電話対応だけでなく、人と話すことに慣れている生徒は、アドリブを交えてもきちんと返せていた。
- ・読むことに集中し、対応の良し悪しまでは考えられない生徒が何人かいた。

社会に出た時の電話対応。伝言を残す時のメモの取り方について学習。教員の会話を聞き、誰に何を伝えなければならないのかを実際にメモを取らせた。

・練習

- ①先生：はい、八洲学園高等学校 堺本校の嶺山です。
- ②先生：です。体調不良なので今日の午後の授業を欠席します。
- ①先生：わかりました。担任の〇〇先生に申し伝えます。
- ②先生：はい、よろしく願いいたします。

・本番例

- ①先生：はい、八洲学園高等学校 堺本校の嶺山です。
- ②先生：八洲学園高等学校ベーシッククラス佐々木の保護者です。田中先生はいらっしゃいますか？
- ①先生：田中は終日出張のため不在にしております。ご用件を伺いましょうか？
- ②先生：明日の修学旅行説明会に参加予定ですが、保護者も一緒に参加したいと思っています。
- ①先生：承知いたしました。それでは、明日6月20日（月）15時より説明会を行いますので、時間に合わせてお越しいただけたらと思います。
- ②先生：わかりました。それでは明日はよろしく願いいたします。

○生徒たちの反応

- ・誰が誰宛に残したメモなのか、また日付や時間などの書き忘れが目立った。
- ・普段から字を書かないのか、字が乱雑過ぎて読めないメモが多々あった。
- ・要点がつかめていない生徒がいた。
- ・会話のスピードについていけない生徒がいた（5回程リピートしている）。
- ・校外学習について、先生へ連絡をする電話練習とアルバイトの採用面接のアポイント。2人～3人グループで役を決め、学校の確認連絡は対教員と、アルバイト採用面接はグループ内で役割を決めて実施。教室内でビジネスマナーを学んでから、グループで練習をし、実際に電話を使用して臨場感を出した。（別紙資料③）
- ・企業間での電話練習。2人～3人グループで企業名、担当者名、簡単な会社イメージを考え発表。相手の会社を理解した後に、用意した台詞にそって会話を進めた。

【生徒の様子】生徒Dさん トウレット症候群

チックの重い症状であり、緊張するとしゃっくりが出続けてしまう。服薬で抑えているが、場面の状況によっては定期的にしゃっくりが出てしまう。

今回の電話対応では、台詞を念入りに確認したことで自信がつき、実践では終始落ち着いて会話をすることができた。しゃっくりも一切出なかった。実践をするまでは不安であったが、実践後は念入りに練習ができて良かったと満足そうに話してくれた。

○生徒たちの反応

- ・早口な生徒が多かった。その都度、声をかけることで意識し、ゆっくり話すことができた。
- ・短い時間であったが、自信のついた生徒は別の台詞にも挑戦してみたいと言ってくれた。
- ・初めは不安や嫌々学習をする生徒が多かったが、実践を通すことで本人が思っていた以上に上手にできると乗り気になってくれて、何度も繰り返すことで確実に上達をしていた。実践を通し、しっかり褒めてあげることが大切であると感じた。

<個別練習> 3年次生 Yさん

自閉症で障がい者手帳取得済。当校へ通いながら、児童発達支援センターにて作業訓練を受けている。特に言語理解ができず、初めて訪問する場所では保護者またはヘルパーが同行している。

○実施内容：実践を行うまでにゆっくり長い時間をかけて、電話対応について学び、しっかり理解をしてから取り組んだ。

○他の生徒との違い

- ・プリントにはルビを入れるなど、読みやすい原稿にする必要がある。
- ・言葉の理解力が無いため、発言する内容をしっかり確認をする必要があった。
- ・会話の詰まりがあると、次に進めなくなってしまう。→繰り返し練習が必要。
- ・圧迫する声掛けをしてしまうと、緊張してしまい、ケアレスミスがやすくなる。
- ・できたことをすぐに褒めてあげると、次に繋がりやすくなった。

<電話対応を通しての反省と改善>

第1回検討会議で教えていただいた「褒める」「反復」の大切さがわかりました。実践をする前に、しっかり内容を理解し、自信をつけることで良い方向に進めることができたと感じます。ただし、今回は台詞を用意していたことで、練習をすることで会話をすることができましたが、全く準備をしていない内容で教員と会話をしてみた結果、ほとんど話せない状況となりました。特に、三宮のYさんは電話越しの会話の意味がわからず、関係のない話をしました。今後、対応力を身に付けるために、実施案を練り直し、さらに定着ができるよう取り組んでいきたいです。

【外部アドバイザー助言】

①林尻先生

両方の授業の方を確認、見させていただいて思ったのは、役割演技という私の方は実は療育の施設を持っておりましてそこに毎週土曜日アメリカ人の先生に来ていただいております。

その先生はアメリカから小学校対象に英語を教えるということで来てもらっておりますが、その先生が来ていただいて約1年が経ちまして、そのアメリカ人の女性の先生なのですがほとんど日本語が喋れないんですけどとても子供とのコミュニケーションがスムーズで、すべてにおいて役割演技という手法を使っているということをつい最近知りました。

簡単にいうとおまごごとです。おまごごとでいわゆる児童心理をやっている先生なんですけども心理的な学問ではなくて、あくまでもその子を知るという視点で関わらせていただいていますという話をつい最近していただきました。

とても良い取り組みだなあということではあるんですけども、どういふ風にやってみたのかなあって見てみたんですけど、褒めるって英語しかわからないので日本語でどういふ風に会話がなされていてどんな風に褒めるのがいいのかっていうのはご本人の文化の違いもあってわからない気がするんです。おまごごとでもそうですしなにか自由活発に活動する上で何か生むということで、たとえば日本のカルタを「これ私やり方知らないので教えて」って言ってカルタのローマ字版みたいなものを持ってきて「よくこれが”K”だわね！」みたいな、そういう流れの中で褒めるってところをとにかく何でもいいから褒めるんですね。そのカードの取り方も普通にとってるだけなんですけど、「すごくかっこよくとった」とかあるいは「丁寧に扱った」とか「その笑顔が素敵」とか「今日のそのピンクおしゃれね」とかなんでもすごく褒めるっていう。なんでも褒めるってすごい、改めてアメリカ人のバイタリティもあるんでしょうけども褒められて嫌な人はいないなあっていうふうに思いました。

そんな流れの中で私何年か前までへパンティングという人材紹介をやっている中でニッポン放送が買収されるっていう話があった時に、ニッポン放送から大量に人材をスカウトしてくれというふうな話があってその時にタモリさんの大親友のプロデューサーで金井さんっていう、実は癌で亡くなってしまったんですけども多分ニッポン放送金井で多分タモリさんと一緒に写ってる映像も出てくると思うんですけど、その方も非常に褒める人で、「今日のネクタイかっこいいね」とか会って2回目くらいでなんでも褒めてくれる。「いい靴履いてますね」3000円くらいの靴でもすごく褒めてくれる。

要するにそんな過去のエピソードを思い出させてくれるようなそんな先生がいます、褒めるってことをすごくお話しくださって褒めるってことは本当に教育の原点なのかなっていうふうに感じてお話を聞かせていただきました。

もう一つ話を聞いて話したいのは、先生の“未完成でいいのよ”っていう表現があったかと思うのですが、今は未完成でいい、未完成ってとても実は私も大好きな言葉でウォルトディズニーっていうのが永遠に未完成という常に未完成なので常にディズニーランドも開発している。ゴールがない。

常に新しいものを取り入れて時代に合ったミッキーマウスも歴史を見ていくと顔が全然違う。どんどん進化している。いわゆる進化をしていくっていう意味での未完成はとてもいい表現だなというふうに聞かせていただきました。

改めて今回の報告を聞いて褒めるということにとっても気が付かせていただいたのと、褒めるという大切さというものがとても良い取り組みだと思っております。ありがとうございました。

②吉田先生

実は1番最初の卒業生が3年務めた会社を退職して戻ってきてるんですね。11月からですね。もう50歳過ぎていらっしゃるのだから当然彼としてみたら次の人生というのは親の介抱だったりいろんな問題があって戻ってきたりしたんです。

その方帰ってきて言ったことがあるんですね。何を言ったかというところと最初褒められてものすごく不信感を感じた。何十年も人に褒められたことがなくていきなり50過ぎて私たちと同じくらいの年齢ですから、そういう大人になってバンバン褒められて「ちょっと待て。騙されてるんじゃないか」とかそういう風なことをぼつんと言ってきたんです。

ところが、本来であれば戻ってくることもないんですけども戻る場所もあって俺が戻る所はここだ。っていうのがあってもう一回ここでの支援っていうのを自分にとって褒められたことを信じたことが最終的に自分の社会に、就職に繋がった。

自分が原点として褒められる、人を褒める。人の見方を素直に見て人を褒めていくっていうことを自分が体得してそしてそれを繋げて他の利用者さんにも繋げていきたいなっていう思いを話してくれたところで、今日の報告をいただいてとてもすごく思い出して感じました。

大人になっても今の自分と生徒さんたちとそれが何十年先になっても結局やってることは同じでして職員のデスクの部屋を借りて実は先月ですけども引っ越しをしまして職員がもっていた部屋をですね本当にパネル一枚にしてそのすべての場所でプログラムを実行できるようなスペースを確保してというアイデアでなり始めたところでして、すごく共感をさせていただいて個別診断ですけどもどうしてもプログラムを受けることは基準としてますからじゃあ別の部屋でっていうのではなくて実際にわざわざ左ではやっているけれども自分はその空間の中において違う空間もできる。

そういうことで職場と同じ感覚がきっとみりのほうでもあるのかなあ、ととても社会にすごくつながってる感覚でやってらっしゃるなと感じました。

それだと職員、先生方おっしゃってたみりのある人物っていうのはとても突き刺さりました。究極はそこにつくことだと。私たち当然奉仕という職員なら当然みられるわけですから、たとえば面々はさっきいった50代の方から30代、40代年下の職員からものを言われる。「なんだよ年下のくせに」っていうところではやっぱり人生的なところは経験が当然出てくるわけですから、そこをカバーするだけの職員としての振る舞いだとかそういう見本になる動向を常に考えていなければいけないという風を感じました。

③森下先生

私の方の大学生の生徒たちの授業で電話の応対というのをやるんですね。

医療従事者の医療保険系の患者さんから実際にかかってくるのでそれをセリフをなしにするんですけども20歳以上になります1年生、それでも学校のお子さんよりも大きいですし謙譲ではなるんですけども、その年代ですと電話を実際に受けたことがないお子さんの方が多くて、できないんですね。

こんなふうに練習をしても私が見てる学生達ができるのかなって思いましたので、この練習というのは

すごく効果があったんじゃないかと思いました。

それよりも、もっと社会人とかもはいつてきますので 30 代の方たちがいますけれども、そういった方たちにおいては普通にできますけれども、このお子さんたちが卒業してっていう近い年齢ですよ。そのお子さん、学生達がほんとにできませんのでこの取り組みはどんどん重ねていくともっと成果があがるんじゃないかなと感じました。

五味先生との授業ですけども、他者理解と他者受容がなかなか難しいので。っていうことで始まったのですがさきほど未完成の話がありましたけれど、他者理解・他者受容ができるというのは実は自分のことがよくわかってないとできなくてこれは大人でも自分のことをどこまでもわかってるかっていうとそうでもなくて私たち心理学の分岐では一生かけて人とのコミュニケーションの中で醸成させていくものというふうに理論的には言ってるものなんですけど、それは自己理解・他者理解・他者受容・自己受容とその 4 点が醸成していくものなんですけど、その中で根本になる自分の理解というのが、私たちはいろんな自分の構造を持つてると思うんですけど、それがどこまでが現実の世界と一致していて、どっから先がまだそうありたいと思ってるけども実は現実世界ではなっていないっていう、その区別がどうついているかというのが真の自己理解なんですけども、この区別がついていないと非常に強い思い込みで何かできると思いついていて、他者からできてないと批判があつたりすると「そんなわけない」とか「そんなこと言うのはその人が自分のこと嫌いだからだ」とか「じゃもうこんな会社やめちゃえ」とか「こんな学校やめちゃえ」とかいうことに繋がっていくので、これは本当に年齢関係なく区別つけることが大事なんですけども、そうすると私たちは大人であっても色々なことすべて 100%できてるわけではないので、どんな人でもいつでも 100%ではないという状態があるので、それは悪いことではなくて現実の世界と一致していない部分っていうのがこれから同じように努力をしてビジョンとして目指していけばそうなるだろうし、また私たちはしょっちゅう変化していきますので途中でそこから先っていうのが出来ていないことが必要なくなる可能性もあつて他のものが入ってくるっていうことがあるので、なのでその部分っていうのができていなくてもいいっていうそのことが腑に落ちると自分の考えてることや行動しようとするのが全部自信が持てる、自分に信頼がもてるという、そこまで来ると自己肯定感とか自尊心があがってくるということになるのでそこに脈々と繋げていくことになるんですけども、未完成の年齢が小さいのでそういったことが短い時間ではなかなか習得できないので、そこをどうしていこうかなということで先生と話をさせていただいたのですが、そういう狙いでもあります。

④松隈先生

私の方からはポジティブ心理学というのがありますのでその観点から 3 点ほどお伝えさせていただきたいなと思います。

1 点、吉田先生の授業に関することなのですが、非常に具体的なアクションベースになってますので成功や達成感を感じられやすい構成になっていると思うんです。なので振り返りの時間を取っていただいて最初と最後をしっかりと見せてあげて、感じ取れる時間っていうのも非常に重要な時間かなあとと思います。2 点目なんですけども、さきほどから何回も褒めるっていう話があつたと思います。人それぞれ承認のされ方で好きなやり方とか心に響くやり方って違うと思います。先生方もたとえば今まで最高に嬉しかった承認された出来事を思い出されたいんですけど、今までで働かれていますの中で一番うれしかった承認された出来事です。

ひとりひとり例えば、自分が大勢いる前で表彰をされたときにものすごくうれしかったと感じられる方もいらっしゃるれば、そういうところで表彰とかムリムリっていう方もいらっしゃると思うんです。

なので、たとえば学期の初めとか個別面談のタイミングでどういう形で今まで最高の褒められてうれしかったのか、とかそういう話を聞くと「この子はこういう感じで褒められた時がうれしく感じるんだ」とか「この子は頑張った時、達成した時に褒められるのがうれしいのかな」とか響くツボっていうのがひとりひとり違うと思うのでそこを把握しておくのが非常に重要なのかなと思いました。

3点目なのですが、こちら非常に素晴らしいノートだと思います。これをさらにすごい発展の仕方考えた時にみなさん一人一人の長所、いいところが書かれていて恥ずかしいけども嬉しいとか。ではこれをどのように日常に活かしていくかっていうのがポイントだと思います。

「笑顔」「頑張り屋さん」とか色々キーワードがあります。それをどうやって次の1週間でいかそうとか、これがいかせるのはどういう場所であろうという形で話し合っただけで日常レベルに落とし込んでいくとか、活かすということを考えるとさらに日常生活に欲しくて大人が「あ、この子今笑顔っていう強み、いいところを使ってるね」という感じで気づきやすくなると思います。そうすると日常生活に持ち込みやすくなると思います。

実際先生方、大人の我々でも経験あると思うのですが占いかみて「私ここのところいいところあるな、うれしい」その時はありますが、日常生活に振り返ってみたときにもうその時には忘れちゃってるとかありませんか。

その部分で実際どう使っていくのかっていうのも次のステップなのかなと思います。

実際に強みというものを認識しただけの部分と日常で使う部分と分けた時に、やはり使った部分の方がどうやってそれを活かしていこうか、使っていこうかという視点でもさらに素晴らしい実習生活ができるのかなと思いました。またいいところを親御さんにも話していこうかなと思いました。

⑤東鬼先生

一人一人褒めるツボが違うっていう話があったんですけども、かつてカウンセリングをしているときに担任の先生とうまくいってない。「なんでその担任の先生が嫌なの？」ってきいたら「幼稚園や小学生でも出来るようなことを褒める、そういうところがすごく嫌だ」っていうことだったんですね。その子は素直に受け取れないのかもしれないんですけど、個人個人褒めるツボというのは違うので、誰でもやみくもに褒めればいいのかというものではないなと思いました。特にこれぐらいの年齢になってくると。

私は就労移行にもかかわってますし、こちらにも関わらせていただけてますし、あと特連会社の社長会にも呼ばれて「話これやってくれよ」みたいなことを言われて行ったりとか、県議会を立ち上げてそういうことを始めましたので、実践的なことを言って申し訳ないんですけど、まず自閉症・自閉傾向の強い子なんかはパソコン好きじゃないですかね。パソコンってただタイピングとか面白くないですよ。タイピングとかワードとかエクセルの何とかがっていうのは面白くないのもっとフォトショップとかイラストレーターとかそういったことをもっとやらせてあげたらすごく好きな子がいると思います。

私もクリスマスプレゼントでもらったことがあるんですけど、USBメモリに入っていてパワーポイントを使っている村で雪がしんしんと降っていてそこをサンタクロースがトナカイに乗って横切ってメリークリスマスという文字が出てきて雪のようにパラパラと崩れていく。それを私は作れないですが、高校生でも作れるようなものなのだと思いますがそういうものでも嬉々としてやっていて、場面緘黙の子に声が出たっ

ていうのを褒めるよりもそういうものを作ってもらったっていうことに対して「私は無理だけどこんなことができるすごいね」みたいなことを言ってあげたらすごくうれしそうなお顔をしますね。

社会人として何が一番大事かという、決してコミュニケーション能力ではないですね。

先ほど先生から自己理解とか自己受容の話が少し出ましたが、自分の障害をきちんと受け入れられているかいなか。それをちゃんと会社に伝えられるかどうか。

支援者の方が結構喋ってしまったりするんですけども、それをきちんと自分で相手に伝えられるっていうところはすごく見えますよね。

自分の状態がどういう状態でどういうことが得意でどういうことが苦手か、苦手だけどういうやり方ならできる。そういうふうなスキルって大事だなと思いました。

せっかく就労という授業を作っておられるのであれば、本当に実習であることをおすすめします。

こちらのほうにもハローワークの方を紹介させていただいたので、その人にも町田の方からでしたら遠いですが新宿校・横浜だったら品川なのでOKだと思うんですよ。

1年生から実習は受け入れてくれるんですよ。本当に実習に1週間いかせると人が変わります。シャキッとします。

社会ってどういうものか、働くってどういうものか、とかなかなか学校で模擬店作ったり模擬会社を作ったりするよりもっと実態がわかるので、横浜は厳しいと伺ってますが品川なら受け入れてくださるところがあるので是非どんどん実習にいかせられることをおすすめしたいと思います。

【勉強会報告】

①関西圏教員対象勉強会 担当 吉田洵教諭

事業所名	株式会社ヒューマンアクティベーション
日時	2018年11月17日(土) 15:00~16:30
場所	八洲学園高等学校 梅田キャンパス (大阪市北区梅田1-3-15 大阪駅前第2ビル 2F)
担当者	講師: 小西 繁雄 先生
実施内容	教員研修: 講演「3S(整理・整頓・清掃)から生徒自立のきっかけを作る」
内容	○3S(整理・整頓・清掃)の重要性 4~5名でグループを作り、3S(整理・整頓・清掃)が求められる理由、進まない理由を考え、それぞれ発表することで様々な考えがあることを理解。 生徒に教えるためには、整理整頓清掃のような本人が知っていると思っている内容であっても、なぜやらなければならないのかをわかりやすく伝え、理解をしてから意識付けて取り組むように指導をしなければならない。そのためには、まずは教員から日々の3S(整理・整頓・清掃)について振り返り、見本になれる人物になることが大切である。支援を要する生徒には、より明確にわかりやすく伝える必要がある。⇒言葉だけでは伝わらない。教員は見本となるべき。 学ぶ環境・家庭の環境・職場の環境などを美しくすることが3Sの目的ではない。3Sの過程で美しくなる。 ・整理の目的・・・その環境から不用品をなくし、今必要なものだけがある状態にする。

	<p>(例：授業前に机の上に何を準備しなければならないのか。何が不要なのか。)</p> <p>生（今要るモノ）・休（今要らないモノ）・死（要らないモノ）の3つに分けること。</p> <p>・整頓の目的・・・誰もが、必要なモノを必要な時にすぐ取り出し、戻せるようにする。モノをどこにどのように置くかを決めて、一目で分かるようにすること。</p> <p>3定（定位置化・定量化・定方向化）を把握し、実行すること。</p> <p>・清掃の目的・・・ゴミ、チリ・ホコリ・汚れを無くし、ピカピカの状態を維持する。清掃は手を使って行う。</p> <p>決めたことを守れない場合の対策</p> <p>①守れること、できることを決める。</p> <p>②守りやすいようにサポートをしてあげること。</p> <p>③守っていることは、しっかりと褒める。できていないことは注意をすること。</p>
感想	<p>生徒へ3Sのできていないことを注意をするだけでは定着はできないことがよくわかりました。また、今回のような日常生活で必要とする行動は、親・教員が見本となり、子供たちへ伝えていかなければならないことがわかりました。そのためには、我々教員も3Sを意識付け、行動に移していく必要があります。これから支援を要する生徒への指導をしていく上で、まずは自分自身が向上できるよう意識して行動をしていきたいと感じました。</p>

②関東圏教員勉強会 担当 花田教諭

【日時】10月13日（土）15時30分～17時

【場所】横浜分校

【講師】鈴木政治先生

【講演テーマ】「生徒を惹きつける授業術 小学校の現場から」

【ねらいと内容】

支援を要する子どもたちの中には発達に問題を抱える子どもも多く、通常の高校の学習指導レベルやスピードでは、理解することが困難でついていけなくなる子どもが増えています。そこで、長年小学校で指導されてきた先生を講師として招き、小学校での指導方法やその手法などを学ぶことで、私たちが向き合う支援を要する子どもたちへの指導方法や表現方法の幅を広げたいと考えました。先生が実践されてきた実際の授業での指導方法も紹介していただく。

【報告】

関東教職員20名が参加し、鈴木政治先生に講義形式で小学校での授業の進め方をレクチャーしていただきました。

内容は生活意欲を高めるためには、生徒の得意なことを見つけ、褒めたり、認めたりすることにより

自信を付けさせることができ、そのことから生活意欲が改善され、学習意欲も高まっていくと教えていただきました。「得意なことがわからない、見つからない」といった生徒には自己紹介カード、他己紹介カードを使って得意なことを見つけてあげると良いというアドバイスもいただきました。

最後は職員同士で四字熟語を利用した神経衰弱や歴史上の人物を題材にした発音ゲームをおこない、生徒の気持ちになりゲームに取り組んでみました。今回の勉強会で学んだことは支援を要する、要さない関係なく、導入などで取り入れていきたいと思います。

③全教職員対象勉強会 担当吉田

【日時】12月14日(土)12時~13時30分

【場所】横浜分校

【講師】ナカノ・マクレーンさん

【講演テーマ】「魔法のコミュニケーション術」

【ねらいと内容】

支援を要する生徒は様々な特性や思考があるので、生徒対応をする際には柔軟なコミュニケーションを必要とします。生徒の気持ちに寄り添い成長させるためにも、教職員のコミュニケーション能力を高める必要があります。どのような声掛けで相手が興味を示してくれるのか、また興味を引くためのコミュニケーション術を学び、教職員のコミュニケーションに対する知識や自信につながる研修としたいです。

【報告】

当日はマジックを交えながら、コミュニケーションの大切さをご講演いただいた。あらためて、コミュニケーションとは一方通行では成立しないということを再確認できた。空気を共有するにはタイミングはとても重要な要素であり、そのタイミングづくりには様々な手法があり、対象によって変える必要があるということを学んだ。教員と生徒のコミュニケーションにも活かすことのできる実践的な講演で大変ためになった。

③第3回検討会議を2019年3月1日(金)10時00分から12時00分

八洲学園高等学校 横浜分校にて実施。

【実施内容】

(1)校長挨拶

(2)図書購入・研修報告

(3)検討会議

○八洲学園高等学校より研究案実施報告(堺・横浜)

○外部アドバイザーからの助言

○その他

(5)出席者名簿

氏名	現職
伊藤 京子	公立学校共済組合関東中央病院 精神科精神保健福祉士 作業療法士
東鬼 裕子	スクールソーシャルワーカー、就労支援コーディネーター
林尻 悟	一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構 代表理事
松隈 信一郎	一般財団法人ストレングス協会代表理事
林 周剛	八洲学園高等学校 校長
吉田 士文	八洲学園高等学校 教頭
南條 将範	八洲学園高等学校 教頭
五味 美和	八洲学園高等学校 進路指導部長・町田分室兼みのり高等部主任
花田 久仁彦	八洲学園高等学校 教務部長
吉田 洵	八洲学園高等学校 教諭
寺西 美加子	八洲学園高等学校 教諭
石塚 理恵	八洲学園高等学校 総務部長・池袋キャンパス主任
平井 美穂	八洲学園高等学校 生徒指導部長
熊谷 憲子	八洲学園高等学校 横浜分校主任
岩谷 彰太	八洲学園高等学校 教諭

【図書購入報告】

書籍名	金額(税込み)	冊数	出版社
書いて覚えるはじめてのフォニックス 正しい発音が身につく！	1,944	1	ナツメ社
Disney イラストでおぼえる 1000 のことば 英単語のバイリンガル表記&クイズ	2,160	1	実業之日本社
親子キャラでおぼえるはじめてのアルファベットドリル 1日10分！	1,026	1	小学館
ARで英語が聞ける英語もののなまえ絵じてん小型版	2,052	1	三省堂編修所
発達障害の子どもがぐんぐん伸びるアイデアノート お母さん、もう怒らなくていいんで	1,620	1	メディカルパブリッシャー
発達障がい児が普通級に入れた！ 医師も認めた！ぶっちぎりですごい！！	1,404	1	コスモトゥーワン
今日から使える認知行動療法 「思考のクセ」に気づけば、心はスッと軽くなる	1,512	1	ナツメ社

心がスッと軽くなる認知行動療法ノート 自分でできる 27 のプチレッスン	1,296	1	ナツメ社
これでわかる発達障がいのある子の進学と就労	1,404	1	成美堂出版
今日からできる！障がいのある子のお金トレーニング	1,836	1	翔泳社
これならわかるスッキリ図解障害者総合支援法 第2版	1,944	1	翔泳社
コグトレ みる・きく・想像するための認知機能強化トレーニング	2,160	1	三輪書店
やさしいコグトレ 認知機能強化トレーニング	2,160	1	三輪書店
アンガーコントロールトレーニング 怒りを上手にさえるためのステップガイド 軽装版	3,024	1	星和書店
みんなのレクリエーションゲーム集 わくわく100ゲーム	1,026	1	日本レクリエーション協会
脳が活性化する大人の世界地図脳ドリル(元気脳練習帳)	1,080	1	学研プラス
脳が活性化する大人のおもしろ計算脳ドリル 62日1850問(元気脳練習帳)	1,080	1	学研プラス
大人の脳活おもしろ！ことばパズル(川島隆太教授の健康パズル)	1,080	1	学研プラス
大人の脳活おもしろ！数字パズル(川島隆太教授の健康パズル)	1,080	1	学研プラス
やさしい脳が活性化する100日間パズル 元気脳練習帳2 (GAKKEN MOOK)	842	1	学研プラス
脳が活性化する100日間パズル 元気脳練習帳(学研ムック)	669	1	学研パブリッシング
やさしい脳が活性化する100日間パズル 元気脳練習帳(学研ムック)	842	1	学研プラス
脳が活性化する間違い探しパズルザ・ベスト 元気脳練習帳補強版(学研ムック)	842	1	学研パブリッシング
Present スペシャルカラーリングエディション(バラエティ)	3,024	1	グラフィック社
DISNEY GIRLS Scratch Art Book(バラエティ)	1,491	1	宝島社
イラストでわかる日本の伝統行事・行事食	4,968	1	合同出版
マインドフル・ゲーム 60のゲームで子どもと遊ぶマインドフルネス	3,240	1	金剛出版
ひとりだちするための進路学習 あしたへのステップ	1,620	1	日本教育研究出版
情報モラルの授業 スマホ時代の子どものための 主体的・対話的で深い学びに向かう	1,620	1	日本標準
ココロメソッドで学ぶことばを育てるワークシート 書いて身につけるコミュニケーション&ソーシャルスキル	1,944	1	合同出版
クラスで楽しくビジョントレーニング 見る力を伸ばして学力&運動能力アップ!	2,376	1	図書文化社
学ぶことが大好きになるビジョントレーニング 2 見る力をグングン伸ばして楽しく学習	2,592	1	図書文化社
学ぶことが大好きになるビジョントレーニング 読み書き・運動が苦手なのは理由があった	2,592	1	図書文化社
SST ワークシート あたまと心で考えよう 思春期編	2,160	1	かがわ出版

失敗図鑑 すごい人ほどダメだった！	1,296	1	文響社
漫画 君たちはどう生きるか	1,404	1	マガジンハウス
おりがみ大図鑑 136 親子で遊んで楽しい！	1,188	1	成美堂出版
かんたんかわいい塗り絵帖	979	1	ブティック社
幸せのメヌエット 美しい花々とかわいい動物たちのぬりえ	1,404	1	ナツメ社
こども自助論 自分の力で人生を切りひらく！	1,620	1	日本図書センター
答えのない道德の問題どう解く？	1,620	1	ポプラ社
なんでもいっぱい大図鑑ピクチャーペディア	4,968	1	河出書房新社
LDの子の読み書き支援がわかる本 (健康ライブラリーイラスト版)	1,404	1	講談社
LD(学習障害)のある子を理解して育てる本(学研のヒューマンケアブックス)	1,728	1	学研プラス
発達障害の人が就職したくなる会社(発達障害者の擬律・就労を支援する本)特集1	1,404	1	河出書房新社
大人の発達障害に気づいて・向き合う完全ガイド 記入式シート付 新版	1,404	1	講談社
発達障害チェックシートできました がっこうのまいにちをゆらす・ずらす・つくる	2,160	1	生活書院
日本版 WISC-IV による発達障害のアセスメント - 代表的な指標パターンの解釈と事例紹介	2,900	1	日本文化科学社
エッセンシャルズ WISC-IV による心理アセスメント	6,480	1	日本文化科学社
日本版 WAIS-3 の解釈事例と臨床研究	5,616	1	日本文化科学社
Amazon 送料	771	1	Amazon
友だち幻想 人と人の〈つながり〉を考える (ちくまライブラリー新書)	799	1	筑摩書房
面白いほどよくわかる！犯罪心理学	1,296	1	西東社
A I v s . 教科書が読めない子どもたち	1,620	1	東洋経済新報社
フランスの花の村を訪ねる (かもめの本棚)	1,998	1	東海教育研究所
潜在能力を引き出すもっとスポーツがうまくなる速読トレーニングドリル 立体視覚を身につける	1,296	1	マイナビ出版
おうちで簡単ビジョントレーニング ボクシング元世界チャンピオン飯田覚士の	1,728	1	ベースボール・マガジン
1日10分でもの忘れ予防毎日脳トレ！脳活ナンプレ366日	1,080	1	西東社
1日1分見るだけで目がよくなる28のすごい写真	1,404	1	アスコム
感謝と喜びが伝わる「笑い文字」練習帳	1,080	1	かんき出版
心を癒す大人のスクラッチアート『猫 THE CAT'S ミニ』	1,296	1	東京書店
からだに美味しい魚の便利帳／全国お魚マップ&万能レシピ	1,404	1	高橋書店
マンガでわかる！10代に伝えたい名言集	1,512	1	大和書房

絵でわかるなぜなぜ会話ルールブック どうして話すときに目を見るの？	1,706	1	合同出版
美術ってなあに？ “なぜ？” から広がるアートの世界	2,052	1	河出書房新社
オレ、カエルやめるや	1,728	1	マイクロマガジン社
とんでもない	1,620	1	アリス館
ケチャップマン	1,058	1	ブロンズ新社
365日日本一周絶景の旅	3,672	1	いろは出版
美麗世界遺産 人類の傑作、かけがえのない大自然	2,700	1	エムディエヌコーポレーション
きせきのしま	1,080	1	小学館
365日世界一周絶景の旅	3,672	1	いろは出版
発達障害の人の「私たちの就活」 (発達障害者の自立・就労を支援する本) 特集1	1,404	1	河出書房新社
発達障害と仕事 発達障害者の自立・就労を支援する本	1,404	1	河出書房新社
ワンダー	1,620	1	ほるぷ出版
みんなひとみしり 聞きかたひとつで願いはかなう	1,404	1	主婦の友インフォス
世界の名画 名画にまつわるエピソードから巨匠たちの生涯まで(「わかる！」本)	1,728	1	メイツ出版
10歳までに身につけたい一生困らない子どものマナー この小さな習慣が思いやりの心を育てます	1,490	1	青春出版社
マナーと礼儀(大人になってからこまらないマンガで身につく)	1,188	1	金の星社
みんなが知りたい!「世界のふしぎ」がわかる本 新版	1,652	1	メイツ出版
ひといちばい敏感な子 子どもたちは、パレットに並んだ絵の具のように、さまざまな個性を持っている	1,944	1	1万年出版
日本国憲法(小さな学問の書(1))	308	1	童話屋編集部
学校では教えてくれない大切なこと3 お金のこと	¥918	1	旺文社
LDの子の読み書き支援がわかる本	¥1,404	1	講談社
ちょっとしたことでうまくいく 発達障害の人が上手に暮らすための本	¥1,728	1	翔泳社
ちょっとしたことでうまくいく 発達障害の人が上手に働くための本	¥1,728	1	翔泳社
オールカラー一番わかる会社設立と運営のしかた	¥1,620	1	西東社
発達障害の人の面接・採用マニュアル	¥1,944	1	弘文堂
13歳からの経済のしくみ・ことば図鑑	¥1,512	1	WAVE 出版
図解1時間でわかる経済のしくみ 改訂版	¥1,080	1	ディスカヴァー・トゥエンティワン
ひとりビジネスの教科書自宅起業のススメ	¥1,512	1	学研パブリッシング, 学研プラス
おカネの教室僕らがおかしなクラブで学んだ秘密	¥1,728	1	インプレス
実践ビジネスプラン事業創造の基礎力を鍛える第2版	¥2,376	1	中央経済社, 中央経済グループパブ
事業計画書の読み方と書き方がよ〜くわかる本第3版	¥1,944	1	秀和システム
図解 仕事の基本 社会人1年生大全	¥1,080	1	講談社
ソーシャルスキルトレーニング 絵カード状況の認知絵カード中高生版1	¥4,104	1	エスコアール

青年期のS S T 2015 厳選シリーズ4点セット	¥11,296	1	一般社団法人 ダイジョブ・プロジェクト
アドラー式「言葉かけ」練習帳	¥1,404	1	日本能率協会マネジメントセンター
一生モノの電子レンジおかず366品	¥894	1	主婦の友社
レンチンおかず作りおき188レシピ	¥1,188	1	新星出版社
ADHDの友だち(どうしてじっとしてられないの?)	¥3,024	1	合同出版
自閉症の友だち(なぜこまかいところにこだわるの?)	¥3,024	1	合同出版
LDの友だち(なぜよみかきがにがてなの?)	¥3,024	1	合同出版
発達が気になる子へのソーシャルスキルの教え方	¥1,944	1	中央法規出版
今日からできる!障がいのある子のお金トレーニング	¥1,836	1	翔泳社
マナーとお金まるわかり	¥1,296	1	日経HR
雑貨&フード ラッピングブック	¥1,620	1	誠文堂新光社
ラッピングの教科書	¥1,382	1	新星出版社
季節のおりがみ 花飾り	¥1,620	1	講談社
リース折り紙12か月	¥1,620	1	日貿出版社
日本人のしきたりいろは図鑑	¥680	1	宝島社
大切にしたい、にっぽんの暮らし。	¥1,620	1	サンクチュアリ出版
手紙・はがき・一筆箋の書き方と文例集	¥1,296	1	主婦の友社
一生使える、一筆箋の美しいマナーと言葉	¥1,620	1	PHP研究所
すぐに役立つ、心が伝わる お礼の手紙・はがき簡潔文例集	¥1,080	1	池田書店
TAM'S WORKSの消しゴムはんこ	¥1,404	1	日本ヴォーグ社
アレンジで広がる楽しい遊印アート 花の消しゴム印入門	¥1,944	1	日貿出版社
ビューグルビーズアクセサリ	¥1,512	1	文化出版局
女の子のかわいいプラバン アクセサリ&小物づくり	¥1,296	1	メイツ出版
プラバンでつくる本格アクセサリ	¥1,296	1	日東書院
まっふる東京 mini '19	¥972	1	昭文社
まっふる大阪 mini '19	¥972	1	昭文社
まっふる香港 mini '19	¥1,080	1	昭文社
クイズと絵地図で都道府県基礎丸わかり	¥1,404	1	受験研究社
オールカラー楽しく覚える!都道府県	¥1,296	1	ナツメ社
オールカラー楽しく覚える!世界の国	¥1,382	1	ナツメ社
クイズと絵地図で世界の国々基礎丸わかり	¥1,404	1	受験研究社
本当に必要な防災グッズ375	¥734	1	晋遊舎
ほんの1分で一生が変わる魔法のかたづけ術	¥1,296	1	PHP研究所
防災の便利帖	¥626	1	晋遊舎
ウォールポケット家計簿ならがんばらなくても貯まります	¥1,080	1	主婦と生活社

袋分けファイル家計簿	¥1,382	1	株式会社カンゼン
いまどきの子を「本気」に変えるメンタルトレーニング	¥1,512	1	秀和システム
いまどきの子の「やる気」に火をつけるメンタルトレーニング	¥1,512	1	秀和システム
自衛隊防災BOOK	¥1,296	1	マガジンハウス
写真のことが全部わかる本	¥1,728	1	インプレス
Webデザインの基本 きちんと入門	¥2,570	1	SBクリエイティブ
はじめてのAccess 2016	¥1,836	1	秀和システム
今すぐ使えるかんたん Word & Excel & PowerPoint	¥1,598	1	技術評論社
Google 無料サービス早わかりガイド2018	¥1,188	1	スタンダード株式会社
SKILL 即戦力になるためのパソコンスキルアップ講座	¥1,706	1	技術評論社
Surface 完全大事典	¥1,490	1	技術評論社
たった3秒のパソコン快速&便利ワザ 仕事をはかどる	¥605	1	技術評論社
消しゴムはんこスペシャルBOOK	¥1,400	1	ブティック社
6段階マルチレベル・スピーキング スピーキング・ハンドブック	¥1,728	1	語学春秋社
360度の視点で仕事を考える 働き方の哲学	¥2,808	1	ディスカヴァー・トゥエンティワン
一番伝わる説明の順番	¥1,512	1	フォレスト出版
感情の問題地図	¥1,490	1	技術評論社
英語の気配り	¥1,512	1	朝日新聞出版
最強のインターンシップ'20	¥1,188	1	成美堂出版
就活のやり方ぜんぶ!2020年度版	¥1,296	1	実務教育出版
天職攻略大図鑑 王様からの求人票	¥1,836	1	プレジデント社
7日間できれいに書ける!美文字履歴書の書き方マナー	¥680	1	ブティック社
何でも英語で言ってみる!旅するシンプル英語フレーズ2000	¥1,728	1	高橋書店
手描きイラスト&タイポ素材集	¥2,592	1	SBクリエイティブ
プロが教える現場で役立つ手書きPOP	¥1,620	1	日貿出版社
チラシの教科書 わかる!!できる!!売れる!!	¥1,728	1	すばる舎
パブロフくんと学ぶ電卓使いこなしBOOK	¥1,404	1	中央経済社
100円グッズでおしゃれ収納インテリアDIY	¥810	1	宝島社
みんなでたのしい20音でできるミュージックベル教本	¥1,620	1	ドレミ楽譜出版社
これができちゃ~人気者!ミュージックベルで大ネタ小ネタ80曲	¥1,944	1	ヤマハミュージックエンタテイメントホールディングス
極める!ペン字・筆文字練習帳	¥1,404	1	コスミック出版
災害対処・医療救護ポケットブック	¥2,052	1	診断と治療社
クレーム対応の基本がしっかり身につく本	¥1,404	1	KADOKAWA
いきなり効果があがるPR動画の作り方	¥1,728	1	言視舎
クラウドファンディングで資金調達!	¥1,512	1	あさ出版

m&m&m's のプチDIY&デコレーションレッスン	¥1,728	1	パイインターナショナル
マナーとお金まるわかり	¥1,296	1	日経 HR
Café de N スクイーズ Collection Book	¥1,922	1	主婦の友社
MY スクイーズファクトリーBOOK デザインパーツコレクション	¥1,782	1	宝島社
もっちりふわふわ スクイーズで焼き立てパン屋さん手作り BOOK	¥1,706	1	主婦の友社

【研修報告】

研修名	日時	場所	内容	金額
教員研修：読み書きに困難を示す生徒への文章指導アプローチと支持（株）	2018年7月20日 （金）	池袋キャンパス	読み書きに困難を示す生徒への文章指導アプローチと支持	40,000
上記振込手数料	15時30分～17時			432
教員研修：家族支援について 家族支援メンタルサポート協会	2018年11月15日 （木）	池袋キャンパス	家族支援について 家族支援メンタルサポート協会	30,000
上記振込手数料	15時30分～17時			432
講演会：「新宿通級児親の会スイッチ」主催	2018年9月2日 （土） 13時30分～16時30分	新宿区戸塚地域センター 7F 多目的ホール	『心配なあの子はダイヤの原石』	6,000
勉強会	2018年9月30日 （日） 9時～12時	目黒区目黒本町社会教育館 第1研修室	WISC-IV勉強会～解釈編～	3,000
セミナー	2018年11月3日 （日）	大田区産業プラザ6階D会議室	自閉症の方のパニックをゼロにする12の方法	4,500
勉強会	2018年11月18日 （日） 9時～12時	目黒区中央町社会教育館 中央町さくらプラザ 地下1階 第2研	WISC-IV勉強会-対応編-	3,000
勉強会	2018年11月18日 （日） 13時～16時	目黒区中央町社会教育館 中央町さくらプラザ 地下1階 第2研	日常から読み解く子どもの特性ー発達障害なの？発達グレーゾーンなの？発達の遅れ？ー	3,000
講演会：品川区発達障害思春期サポート事業 平成30年度第4回啓発講演会	2019年1月12日 （土）	品川区役所第3庁舎 6階 講	『ADHDの理解と支援～幼児期から成人期まで～』	500
日本LD学会 第2回研究集会 公開シン	2019年1月13日 （日）	上智大学 四谷キャンパス 6号	「顕在化しにくい発達障害の支援施策について」	2,000

勉強会	2019年1月20日 (日) 9時30分～11時40	目黒区下目黒住 区センター第1 会議室	WISC-IV勉強会-基礎編-	3,000
講演会：品川区発達障害思春期サポ ート事業 平成30年度第4回啓発講演会	2019年1月12日 (土)	品川区役所第3 庁舎 6階 講	『ADHDの理解と支援～幼児期か ら成人期まで～』	1,000
日本LD学会 第2回研究集会 公開シン	2019年1月13日 (日)	上智大学 四谷 キャンパス 6号	「顕在化しにくい発達障害の支援 施策について」	2,194
勉強会	2019年1月20日 (日) 9時30分～11時40	目黒区下目黒住 区センター第1 会議室	WISC-IV勉強会-基礎編-	6,000
勉強会	2019年2月10日 (日) 9時30分～11時40	目黒区中根住区 センター第1会 議室	WISC-IV勉強会-解釈編-	9,000
講演会：品川区発達障害思春期サポ ート事業 平成30年度第5回啓発講演会 「」	2019年2月17日 (日)	品川区中小企業 センター 3階大 会議室（西品川 1-28-3） 西品川1-28	『当事者が思う”こうしてほしい” かかわりかた』NPO法人リトルプ ロフェッサー副代表、臨床発達心 理士、当事者 綿貫愛子さん	500
花園大学心理カウンセリングセン ター主催 発達障害セミナー201 8 -多角度からの発達障害の学び方-	7月28日 10:00～15:30	花園大学	①「当事者研究から見た自閉スペ クトラム症」（熊谷晋一郎先生） ②「コグトレとは？～困っている 子どもの理解と支援～」(宮口幸	¥3,000
発達障がいフォーラム2018 大人の発達障がいから見る幼少期から の関わり方や育て方	11月18日 13:00～16:25	桃山学院教育大 学	①「幼少期から青年期までの関わ り方、育て方」（竹田契一先生） ②「発達障がい～大人になって困 ること～」(品川裕香先生)	¥500

【関東実施内容報告】 報告者 五味美和教諭

第2回キャリア学習（全3回）

実施日時 2019年1月24日（木）5限 14:00～14:50

出席者 1～3年合同、出席人数：13名

担当 五味美和（教諭）、森下優子（キャリアカウンセラー）

ねらい

- 5、自分と他人の違いを知る
- 6、他人との関り方がわからない生徒が多いので、基本的な人との関りを学ぶ
- 7、他者から見た自分を知り、自己肯定感を高める
- 8、人前で話すことが苦手な生徒が多いため、話すことに少しでも自信を持てるようにする

指導案：本時の展開

段階	時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価
導入	5min	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいと実施内容の説明 ・心理テスト（バウムテスト） ※色カードを回し、色が変わる状態見るなど実験する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描きたくない生徒もいると思うが、自由に描かせるようにする。 ・心理状態は先生よりあとで解説が返ってくることも伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不信感を持たずに描いているか。 ・嫌がらずに描いているか。
展開	10min～ 15min	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルスペース（復習） 1、教員による説明・見本 2、生徒が順番に体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかのグループに分け全員できるようにする。手本するときの注意事項の確認を事前にする。できる思い込みでやらない生徒が出ないようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・距離感がつかめるか
	20min～ 25min	<ul style="list-style-type: none"> ・聴き手の位置（ワーク） 1、横並び（各30秒） 2、45度の位置に座り直す 3、90度の位置に座り直す 4、対面・正面に座る 5、上記踏まえシェアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の位置はそのまま、聴き手が位置を変える ・アナウンスによってかえていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聴くことの難しさを体験する
		<ul style="list-style-type: none"> ・次回実施の視線について、注意すべき点を説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の予告で注意点をしっかり聴かせる。 	
まとめ	10min	<ul style="list-style-type: none"> ・課題（ボイストレーニング）確認 ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題の『滑舌トレーニングの簡易版』2枚を復習。 ・シート記入させる。 	

第2回キャリア学習 実施後の振り返り

【バウムテスト】先生からの指示で皆特に不満を言うこともなく描いていた。一度提出し、次回返却することも伝えた。攻撃性の強い生徒と自分に自信のない生徒が多いことがわかった。

【色カード】緑が平常心、赤が苛立ち、外見とは違っている生徒が数名いた。

【パーソナルスペース（復習）】前回は教員内での事前打ち合わせが徹底していなかったこととグループ分けしていなかったことを反省に、遠い距離で精一杯な手本を見せ、無理に近づく必要がないことを示した。3~4名のグループ分けは、生徒間で実施できるメンバーになるように配慮して行った。普段仲の良い生徒同士でも距離が近すぎることを教えてあげる場面もあった。今回は細かくグループ分けをしたのでやらない生徒はいなかった。

【聴き手の位置ワーク】2人1組になり、「話し手」と「聞き役」をRPで実施。話し手の位置はそのまま、聞き役が位置をかえていくのだが、位置によって、聴きにくさが出てくることを実感できたようだった。比較的落ち着いて話をできるのは横並びが多かった。数名対面が良いという生徒もいた。

【ボイストレーニング練習シート】前回渡したシートの練習をしているか確認したかったが、実際に練習していた生徒はいなかったので再度宿題として渡し、練習方法など伝えたが少し難しいようであった。

【全体】本来、様々な生徒同士でさせた方がワークになると思うが、これがきっかけで登校できなくなる恐れなどもあるため、実際には好き嫌いや苦手意識のある生徒などを考え、実施しやすさを考慮して行った。各々の感想は次の通り。

第2回 キャリア学習感想

1 バウムテストを描いてみて感じたこと

- ・どんな結果が出るかなと思いながら描きました。
- ・自然が好きです。自然体な木が好きです。
- ・改めて自分は孤独でいる方が合っているし好きだと思った。
- ・結構小さい、実が多い。
- ・ありません。(2)
- ・木の枝のところが回って絵の見えるすてきなカラフルバリエーションを薄く塗るのを表現してできて良かったと思いました。
- ・しっかりした木が描けなかった。アニメっぽくなってしまった。きのこは好きなので生かせました。
- ・前に似たような心理テストをやったことがあります。
- ・心、自分の心の大きさ。

2 パーソナルスペースについて

- ・ だいたい 20～30 cm 離れるくらいがいかなくとも思いました。
- ・ 0 cm 0 cm 0 cm 思っていたよりも他の人は距離感があるんだと思いました。
- ・ 自分のパーソナルスペースは思ってたとおりに遠くて自分の視界に入るのが嫌だった。一人でいる方がいい。
- ・ ○○とは距離が近かった。○○とは少し遠かった。 / ・ ○○とパーソナルスペースが遠い。
- ・ 少しつかめました。
- ・ 距離感のお話も大盛り上がりで聞きやすく思うように伝えることができ良かったです。
- ・ あまり近すぎても緊張する。ちょうど隣の席くらいの距離がいいけれど大勢いたら無理。
- ・ 後ろが狭いことがわかりました。
- ・ ちょうど声が聞こえるくらい。 / ・ 100 cm

3 聴き手の位置ワークについて

- ・ とりのりが方が直面より緊張しなかったのとりのりが方が聞きやすかったです。
- ・ 正面が聞きやすくそしてしゃべりやすかったです。(2)
- ・ 聞きやすい位置も話しやすい位置も真横だった。正面で聞く時はお腹がぞわぞわしてくすぐったかった。顔を見て話すのが苦手だった。
- ・ 正面はなぜか顔をそらしたくなる。
- ・ 違っていました。
- ・ 左右ストップで方向は大変だったけれど楽しくできて良かったです。
- ・ いちばん目の前が良かったと思う。でも目を見て話すのはすっごく緊張する。顔が見えないのはなんか、、、。
- ・ 90度が聞きやすかったです。(2)
- ・ 人によって聞きやすい位置が違っていた。

4 ボイストレーニングについて

- ・ まだ家でやってなかったのでやってみます。
- ・ してません。(2) 近所迷惑です。
- ・ もらってないからわからない。

第3回キャリア学習 (全3回)

実施日時 2019年2月21日(木) 5限 14:00～14:50

出席者 1～3年合同、出席人数：11名

担当 五味美和(教諭)、森下優子(キャリアカウンセラー)

ねらい 第2回と同じ

指導案：本時の展開

段階	時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価
導入	5min	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいと内容の説明 ・バウムテスト返却、先生のコメントを参考にするように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・返却されたバウムテストのコメントを見る様子を見て気になる生徒がいれば声をかける。 	
展開	10min～ 15min	<p>(1) 良い聴き手になるためのワーク（復習）→ 聴き手の位置を変えるワークの振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思い出せない生徒も多いのと欠席していた生徒もいるので簡単に実践で振り返る。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・視線（ワーク） <p>1、顔（視線）は下を向いたまま、応答は、適当に応える。(30秒)</p> <p>2、話し手の目をずっと凝視したまま応答は適当に応える。(30秒)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手は話し続け、聴き手が視線を変える ・アナウンスによってかえていく ・感想は手をあげて言ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いてもらえないとどういう気持ちになるか、また、あまりに見つめられたらどういう気持ちになるか体験してもらう。
		<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢（ワーク） <p>1、後ろにのけぞる、ふんぞりかえる、応答は適当に応える(30秒)</p> <p>2、前に身を乗り出す、前傾姿勢、応答は適当に応える。(30秒)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手は話し続け、聴き手が姿勢を変える ・アナウンスによってかえていく ・感想は手をあげて言ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひどい態度で聞かれたり、あまりに近い位置で聞かれるとどういう気持ちになるか体験させる。
	15min	<p>(2) 否定されるワーク</p> <p>2人1組で相手が話している内容をひたすら否定する。交代で行う。(1分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つの部屋ワーク <p>4つのグループに分かれる。別なグループをひたすら否定し続ける。(1分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4グループに分ける際に、興味のあるもの4つに分類させる。 <p>例) 今ほしいもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ①金メダル ②どこでもドア ③ポケGO ④1億円 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で否定されるとどういう気持ちになるか、また集団で相手を否定するときとの感情の違いを学ぶ。

展開	10min	<p>(3) 話を聞かないお母さん(ワーク)</p> <p>1、2人1組になる。</p> <p>2、母役と子ども役でのRP子どもはとにかくお小遣いをもらえるように母にねだり続ける。母役は、理由を色々つけてお小遣いを渡さない。</p> <p>3、先生役と生徒役でのRP生徒役は先生に2の愚痴を先生に話す。そのときの先生の態度で本人がどう思うか。</p>	<p>・先生のペアで見本見せる。その際に生徒が気持ちをただ聞いて欲しいだけなのか、アドバイスを欲しくて先生に話したのか打ち合わせしておく。</p>	<p>・話を否定されるのでなく聞いてもらえないとどういう気持ちになるか体験する。</p> <p>・相手にして欲しいことをしてもらえないとどういう気持ちになるのか体験してもらう。</p>
まとめ	10min	<p>・今日の振り返りとキャリア学習での学習の振り返り</p> <p>・課題(ボイストレーニング)確認</p>	<p>・シート記入させる。</p> <p>・宿題の『滑舌トレーニングの簡易版』2枚を復習。</p>	

第3回キャリア学習 実施後の振り返り

【バウムテスト返却】かなり重たい状態の生徒もいたので、本人に当たり障りのないコメントにしていただけ返却した。生徒の中には、終了後先生のところに来て、なぜ自分の状態がそんなにわかるのかと驚いてたずねる生徒もいた。

【聴き手の位置ワーク(復習)】見本で見せた教員同士で再度実施状況確認のため実践で行い生徒の記憶を戻した。「あの場所は気まずかった」などつぶやいている生徒もいてしっかり思い出せた様子であった。

【視線の位置ワーク】2人1組になり、「話し手」と「聞き役」をRPで実施。極端な2種類に絞って実施。ここでのポイントはとにかく視線をあわせないことであったが、聞いてもらえないことのつらさはなんとなく実感できたようである。2つめの凝視された場合は距離によっても違うことが実感できたようである。

【姿勢の位置ワーク】2人1組になり、「話し手」と「聞き役」をRPで実施。視線はどこに置いてもよしとのこと、こちらも2つめに関しては距離によってもだいぶ違った様子。

【否定されるワーク（個人）】2人1組になり、「話し手」と「聞き役」をRPで実施。そこまで否定しなくてもいいのにと悲しく感じる生徒が多かった。一方相手を否定した経験がないのか否定することに戸惑う生徒も見受けられた。

【否定されるワーク（集団）】人数が少なかったので2グループで実施。欲しいものはどっちかという内容で「どこでもドア」「宝くじで1億円が当たる」、自分の欲しい方に入る。お互いのグループを否定しあうが、一人ではないので楽しいと感じる生徒もいた。個人とグループで否定されたり否定する時の感情の違いを先生から改めてお伝えいただき、それぞれに色々と感じ取ったようである。

【話を聞かないお母さんワーク（集団）】否定されないどころか一切話を聞いてもらえない体験をして、中には「いつもの母親と一緒に」という生徒がいる一方「少しは聴いてくれても、、、」とつらく感じる生徒もいた。また、先生に話した時に、ただきいてもらいたかっただけなのか、それともアドバイスを求めていたのか、ニーズに合わない人間はその人と話をしたくなくなるということも聞き、なるほどと思った生徒も多かった。

【振り返り】キャリア学習のまとめとして最後に先生から「メラビアンの法則」の話もいただいた。その人それぞれの価値基準があり、自分と他人は違う人間であることを認めていきましょうという内容で終了した。話し方で相手の印象も変わることから次年度は話し方についての勉強も取り入れていくことを伝えていただいた。

【全体】木曜日は2～4限で就労を合同授業で行っていて、この日もGWがほとんどだったせいか、その体勢になれているようで、RPも実施しやすかったように思う。自分と他人の違いを改めて知ること、人との関わり方を学ぶことなど、実践で今後も学べるような機会を作っていくことが大切であると改めて感じた。各々の感想は別紙の通り。

第3回 キャリア学習感想

1、バウムテストの先生からのコメントについて

- ・ぼくは、自分のことをわかっていないと思いましたが、今日先生から「自分のことをよくわかっていますね」というこたえが意外です。
- ・「木」もうちょっとしっかり描きたかったんだけどどう描けばいいのかわからない。
- ・良いことが書かれていて嬉しかったです。
- ・目標があるのがわかるなんてすごいです。
- ・まあまあ。 / ・良いと思う。 / ・いまいち。

2、聴き手の位置・視線・姿勢のワークについて

- ・ぼくは改めて正面から見つめ合って話をする方が言いやすいと思いました。
- ・「話し手」→そもそも話が續かない。声が小さくて届いていたのか、、、。「聴き手」→見られると緊張して何話せば良いのかもっと分からなくなった。
- ・話し手の時は、前かがみのときの方が相手が聞いてもらっている気がした。聴き手の時も前かがみの方が聞きやすかったです。
- ・正面がいちばん話しやすかったです。
- ・普通。
- ・正面の方が聞きやすい。
- ・まあまあ。

3、否定されるワーク（個人・集団）について

- ・否定するのがつらかったです。
- ・ちょっとイラッときた。なかなか自分の意見を聞き入れてくれないのはむかつく。ちょっとはきいてくれてもいいだろう。
- ・否定する言葉があまり思い浮かばなくて難しかったです。自分の好きなものを話して否定されるのは少し悲しいと思いました。
- ・個人ではペアを組んだ人が優しく否定されませんでした。グループでは否定するのもされるのも面白かったです。
- ・普通。 / ・まあまあ。
- ・個人でやったときは嫌な気持ちになった。グループでは、一人じゃなかったら多少平気。

4、話を聞かないお母さんワークについて

- ・話している間に時間が終わってしまいました。
- ・じゃあ、私も話聞かないから、、、。
- ・話をきいてもらえなくなるととても悲しかったです。
- ・嫌な気分になりました。
- ・特には、、、。
- ・聞いてもらえないと悲しい。ちゃんと聞いて欲しいと思った。

5、今後の自分に活かしたいこと

- ・相手が話している時は相手の顔を見ることですね。
- ・相手の目を見ながら話すのは緊張するけど頑張らないとだめだね、、、（基本だけど）。
- ・面接の時、このキャリア学習を思い出して活かしてみようと思います。
- ・もっとうまく人とコミュニケーションを取りたいです。
- ・色んなところで。 / ・人の話を聞く。

【関西実施内容報告】 報告者 寺西美加子教諭

毎週火曜・木曜平均週 3 時間 40 時間（前期）／40 時間（後期）

前期の実施内容、外部アドバイザーからの助言を参考に後期の予定初案を見直し修正を加え、2 案を作成した。2 案をベースに前期同様生徒の様子を見ながら臨機応変に対応しながら実施した。

		後期実施予定案			後期実施内容	詳細
41	体験	入社準備	41	座学	前期の振り返り・夏の思い出を語る	約 3 か月振りの授業であったため、前期の振り返り、後期の目標を記入し、発表した。前期は想像以上に授業に出席できたことが良かった、と話してくれた。夏の思い出を話す時間もとったが特に楽しかったことはなく、あまり外出はしなかった様子。
42	体験	入社式参加	42	体験	オリエンテーション 入社式準備 入社式	後期のスケジュールを確認。その後、入社式の練習を反復しておこなった。起立・礼・着席、の動きが何度もあり、しんどそうであった。入社式は吉田教頭にきていただき、緊張感をもって最後の 10 分で実施。入社式の中で採用辞令を教頭から授与。
43	体験	入社後の研修①（電話のかけ方）	43	体験	電話対応①	新入社員として、電話の応対時の心構えや対応の方法について学習した。特に電話に出るとき、切る時のあいさつを丁寧にして欲しいことを伝えた。お互いが円滑に気分よく電話ができるように対応して欲しいと伝えた。
44	体験	入社後の研修②（メモを取る）	44	体験	電話対応②	電話対応の実践を行った。実際に電話を使用した。前の時間で行っていたことを思い出し、台本を用い流れを学習した。慣れないことで苦戦していたが、最後にはしっかりと対応出来ていた。

45	体験	入社後の研修③(名刺交換)	45	体験	名刺作成①	名刺作成。作成前に様々な種類の名刺を見せ、どんな名刺が良いか、会社のイメージカラーは何色か、一緒に考えた。パワーポイントを用いて作成。想像以上に時間がかかり、4限も引き続き、作成した。
46	体験	入社後の研修④(来客対応)	46	体験	名刺作成②	会社ロゴも完成し(スマートフォンのアプリで作成)、ロゴ入りの名刺が概ね出来上がった。次の時間に、最終確認をして、プリントアウトする予定。
47	ケア	キャリアカウンセリング①	47	体験	名刺作成③	欠席していた生徒へ他の生徒が教える形で、協力しながら名刺を作成。授業の後半は、裁断機を使用して、名刺を完成させた。裁断機の使用は、かなり手こずっていた。その後、お互い交換をした。
48	ケア	キャリアカウンセリング②	48	座学	報告・連絡・相談	社会人のハウレンソウについて学習。様々な事例をだしながら、社会人としてどういった動きをすべきなのか、自分ならどうするか、話し合った。終始、難しそうな表情をしていた。
49	座学	一般常識学習	49	座学	一般常識①	国語(常用漢字の読み書き、故事成語)と、英語(単語の意味、対義語、用法)を行った。カタカナを漢字に書くところは苦戦していた。他はまずまずだった。
50	座学	業務受注、業務内容など確認	50	座学	一般常識②	2018年に成立した法案やについて行った。
51	座学	役割分担、スケジュール確認	51	ケア	キャリアカウンセリング	カウンセラーの小島先生による特別授業。定期的に小島先生のカウンセリングを受けているため、リラックスした様子であった。働く人のメンタルサポートについて学んだ。
52	体験	業務開始①	52	ケア	キャリアカウンセリング	引き続き、カウンセラーの小島先生による特別授業。働く人のメンタルサポートについて学んだ。

53	体験		53	体験	業務①	業務①（事務センター実施） はじめての業務。この時期、寒くなってきたこともあり、欠席者が増えた。事務センターで複数の初対面の職員と挨拶や名刺交換をおこなった。タイムカードの使用。業務内容は、レポート作成。職員から説明を聞き、実際に印刷機や折り機を使用し、冊子のレポートを作成した。
54	体験		54	体験	業務①	業務①（事務センター実施） 引き続き職員に手伝ってもらいながら、レポートが完成した。今回ははじめての業務であったが、かなり緊張している様子であった。質問したり、メモをとったりすることはなかなか難しかったが、一つ一つ真剣に取り組むことができた。
55	体験		55	体験	業務②	業務②（事務センター実施）事務センターで挨拶と名刺交換。タイムカードの使用。業務内容は、発送作業の手伝い。前回に引き続き、職員の説明を聞き、業務に取り組んだ。送付物印刷、宛名シール貼り、送付物を封筒に入れる、のり付けの作業を主に行うことになった。
56	体験		56	体験	業務②	業務②（事務センター実施） 一つ一つの作業に時間がかかったため、職員にも同じ作業を目の前でしていただき、見ながら業務を進めることになった。指サックをはじめて使うことになった。

57	座学	業務①回顧	57	体験	業務③	業務③ 名前ハンコ作成 業務にあたるにおいて、様々な場面でハンコが必要になることを作成前に2人に伝えた。ハンコを使用する場面（重要な案件の時に、決裁する場合やお金の受け取りなど）を挙げてイメージを高めた。教員側で用意したハンコの見本（名前入りのもの）をトレーシングペーパーで写し、ハンコのもととなるもの書き写した。
58	座学	給与支給/給与勉強会	58	体験	業務③	業務③ ハンコ作成。それぞれの名字のハンコが完成した。
59	座学	銀行の役割/口座の作り方	59	座学	経済のしくみ①	お金の種類、財やサービス、家計について学習。内容が難しいため、心配していたが、クイズ形式ですと、色々とアイデアをだしてくれ、楽しく授業を進めることができた。
60	体験	八洲銀行に口座開設	60	座学	経済のしくみ②	銀行のしくみ、銀行口座、お金の支払い方、通貨について学習。銀行のしくみや口座に関しては、授業で取り上げるのは、なかなか難しく感じた。
61	体験	業務開始②	61	ケア	キャリアカウンセリング	カウンセラーの小島先生による特別授業。職業選択について。
62	体験		62	座学	マナー学習	会話内で、お箸の使い方が苦手という発言があったため、正しいお箸の使い方について授業を行った。実際に複数、お箸や箸袋を用意し、使い方や箸使いのマナーについて学習した。最後に、箸袋で箸置きを折った。
63	体験		63	体験 座学	前半:コンプリメントシャワー 後半:整理・整頓・清掃	横浜分校で実施されたコンプリメントシャワーを実施。寺西も加わり、おこなった。真剣に取り組み、有意義な時間となった。後半は、整理・整頓・清掃について話をしながら、

					次の時間の業務説明を行った。
64	体験		64	体験	業務④ 業務④（事務センター実施） 教室の整理・整頓・清掃を実施。時間があまりなく、文房具棚の整理・整頓、作品の展示を中心に行った。次の時間に、業務を継続する。
65	座学	業務②回顧	65	体験	業務④ 業務④（事務センター実施） 教室の整理・整頓・清掃の続き。『図書コーナー』『靴置き場』『立入禁止』など、必要な掲示物をパソコンで作成した。
66	座学	冠婚葬祭マナー学習	66	体験	業務④ 業務④（事務センター実施） 前回の授業で作成した掲示物を、ラミネート加工し、貼り付け。掲示物に色を塗る作業は楽しそうであった。ラミネーターは、慣れるまで、入れる作業が難しそうであった。2人とも、教室が使いやすくなったと思う、使いやすいようにいろいろできて楽しかった、と言っていた。
67	ケア	キャリアカウンセリング③	67	座学	業務⑥の打ち合わせ 業務⑥の打ち合わせ。業務内容はパワーポイントの作成。学校内の思い出の場所や教室を巡りながら、その場所の紹介をしていく、パワーポイントの作成を依頼した。時間中に、思い出の場所5つと、その理由を各自で書き出した。

68	ケア	キャリアカウンセリング④	68	体験	業務⑤	業務⑤ 大量の科目ごとにわかれているプリントを、数えていく作業をお願いした。指サックが上手く使えず、最初はかなり苦戦して時間がかかっていたが、少しずつ慣れていたようで、黙々と取り組んでいた。それぞれ同じプリントの数を数え、最後につき合わせ、答え合わせをした。数が違う科目は、再度数え確認した。
69	体験	業務開始③	69	体験	業務⑥	業務⑥の打ち合わせ。パワーポイント作成のため、思い出の場所5か所を巡り、写真を撮影した。
70	体験		70	体験	業務⑦	業務⑥（事務センター実施） 校内にある購買部の在庫数を確認した。それぞれ同じ物品の数をそれぞれ数え、最後につき合わせ、答え合わせをした。数が違う物品は、再度数え確認した。前回より、集中して取り組んでいた。
71	体験		71	ケア	キャリアカウンセリング	カウンセラーの小島先生による特別授業。職場のコミュニケーションに関して学んだ。
72	体験	業務開始③	72	ケア	キャリアカウンセリング	カウンセラーの小島先生による特別授業。職場のコミュニケーションに関して、学んだ。
73	体験		73	体験	業務⑥	業務⑥（事務センター実施） パワーポイント作成。情報の教員が担当。パソコンが苦手な生徒も教えてもらいながら、黙々と作業に取り組んだ。
74	体験		74	体験	業務⑥	業務⑥（事務センター実施） 引き続き、パワーポイントの作成を進めた。
75	座学	業務③回顧	75	体験	業務⑥	業務⑥（事務センター実施） 引き続き、パワーポイントの作成を進めた。

76	ケア	キャリアカウンセリング⑤	76	体験	業務⑧	業務⑧（事務センター実施） 中等部卒業生とへのメッセージカード作り。昨年度のメッセージカードを見せ、今年度はどのような形にするのか、ネットで検索しながら、考えた。Aさんは細かい作業が好きで、色々な意見を出してくれた。
77	座学	社会常識学習	77	体験	業務⑧	業務⑧（事務センター実施） 中等部卒業生とへのメッセージカード作り。
78	体験	退職願作成/疑似通貨の清算	78	体験	業務⑧	業務⑧（事務センター実施） 中等部卒業生とへのメッセージカード作り。
79	体験	お別れ会	79	体験	業務⑧	業務⑧（事務センター実施） 中等部卒業生とへのメッセージカード作り。
80		1年間の総まとめ	80	体験	業務⑧	業務⑧（事務センター実施） 中等部卒業生とへのメッセージカード作り。16名分、完成。 最後の30分で、1年間の振り返りと、給与計算、精算等おこなった。

○業務体験の量を増やした経緯：高校生活5年目で、就職を考えていた生徒がいたため、より就労を体験できる内容を増やすことを心掛けた。一時期欠席が増え、心配していたが、業務について、何事も積極的に取り組んでいた。前半は、事務センターの職員の皆様にご協力いただき、職員の方々から、実際に業務を教わったり、交流したりする機会を多く取り入れた。少しずつ、環境に慣れてくると、後半は、自分で黙々と取り組む作業も多く取り入れた。様々な業務に取り組む中で、どういう作業が楽しいのか、苦手なのか、話をする機会を多く作った。生徒自身、業務を通して、好きなことには少しずつ自信を持って取り組むようになったと感じる。

○就労支援学習というテーマの必要性：1年間の継続した就労支援学習は、生徒たちにとっても、教員にとっても、はじめての経験だったが、全体を通して楽しく取り組むことができているように感じる。座学の授業ではみられない表情を見ることができた。業務の最初は、不安そうな顔をしていたが、慣れてくると、好きな作業の時は、特に前向きに取り組んでくれた。2年目は、さらに外部での業務体験も考えたいと考えている。

○キャリアカウンセラーの必要性と活用方法：前期ではキャリアカウンセリングは3時間実施。後期は

5時間の実施。カウンセラーの先生との対話形式で、自分の気持ちの整理を行う時間もあった。終了後には、生徒から、生きていくうえで役立つことが学べた気がする、という声があがった。

○1年間なんとか終わることができた。中でもAさんに関しては、4年間、他の生徒と一切話すこと、交流することがなかったため、授業内で、他の生徒と交流することは、良い時間になったのではないかと思う。ただ、今回は、たまたま2人とも共通点や似たところも多く、良い雰囲気を進めたことが多かったが、来年度は、今年度のように進まない部分も多数でてくると考える。

今年度、前期終了後に、後期実施案を作成したが、後期の授業をすすめる中でも、色々と改善点や変更点が出て、後期の実施案も大幅に変更するに至った。実施していく中で、変更点が多かったため、全体的にまとまりがないところは、反省点の一つである。来年度は、新しく増える生徒もおり、実施中に、シラバスを変更していくことも想定される。さらに内容を構築していくために、変更や改善をしながら、引き続き、取り組みを進めていきたい。

前期開始時は、1年間の授業終了時に、模擬会社を廃業をするつもりであったが、生徒が自分たちが作った会社に愛着をもってくれているので、廃業をせず、会社を存続させることに決めた。

お金についての学習は、全く思ったように進まず、最低限の取り組みとなった。来年度は、2年目となる生徒もいるため、改善していきたいと考えている。

生徒の感想（一部）

○Aさん：印象に残った学習ベスト3：①お茶をいれる ②卒業生へのカード作り③プリントの枚数数え
理由：全部楽しかったから

業務はとても楽しかったです。もくもくと作業することが好きなことがわかりました。就職までの流れ体験は、履歴書を書くときや、求人票を見るときなどの参考になって助かったし、面接の練習が少し早くできてよかったと思う。一般常識や社会常識は、めんどくさい、社会人は大変だと思った。パソコンへの苦手意識は少しくすまってきたようです。でもむずかしい。

○Bさん：印象に残った学習ベスト3：①卒業生へのカード作り ②教職員へのインタビュー③面接練習
理由：①楽しかったから ②③とても緊張したから

面接練習では、はきはきと話すことが大事だと思った。入社式は、教頭先生がきてくださったので、少し緊張したが、しっかりと返事をすることができた。事務センターの業務では、わからないところはわかる人に聞き、何度も復習して仕事を覚えていくべきだと思った。卒業メッセージカード作りは、大変だったけど、カードを見て少しでも喜んでくれたらうれしいと思った。たくさんの人と名刺交換をして、緊張した。ハンコ作成は難しかった。

1年間全80時間をおこなってみて、現時点での2019年度案が以下の通りとなります。

前期		
	1年目	2年目
1	学習スケジュールの確認	
2	準備 ・自分を理解する ・職業を知る	疑似会社準備 ・どういう会社を作るか ・欲しい人材
3		
4		
5		
6		
7		
8	キャリアカウンセリング	
9		
10	就職活動の方法と流れ	会社設立準備
11		
12	採用試験対策	採用試験準備
13		
14		
15		
16		
17	採用試験	
18	採用試験回顧	
19	一般常識・社会常識学習	
20		
21	ビジネスマナー・お金について学ぶ	
22		
23	入社式参加	入社式準備
24		
25	入社後の研修	入社後の研修実施
26		
27		
28		
29		
30		
31	名刺作成体験	
32		
33	キャリアカウンセリング	
34		

35	業務受注、業務内容など確認	
36	業務①	業務① (サポート)
37		
38		
39		
40		
後期		
	1年目	2年目
41	役割分担、スケジュール確認	
42	業務②	業務②(サポート)
43		
44		
45		
46		
47	お金について学習	
48		
49	給与支払い/八洲口座開設	
50		
51	業務③	業務③ (サポート)
52		
53		
54		
55		
56	ビジネスマナー学習	
57		
58	キャリアカウンセリング	
59		
60	業務④	業務④ (サポート)
61		
62		
63		
64		
65	社会常識の勉強会	
66		
67	キャリアカウンセリング	
68		

69	業務⑤（一部外部で実施）
70	
71	
72	
73	
74	
75	
76	疑似通貨の清算
77	お別れ会
78	
79	まとめ
80	

【外部アドバイザー助言】

①松隈先生

まずは、報告ありがとうございました。視覚的なことを取り入れると非常に生徒にとって、ものすごくわかりやすいのかなというふうに感じました。二つ目ですが体験型というのが生徒にとって、頭での理解ではなく体での理解することが多くて素晴らしいなと感じました。特に話を聞かないお母さんという体験は、親御さんにもぜひやっていただきたいなと思うような内容でした。三点目ですが、さまざまな客観的に自分を見なおせるワークを多く取り入れられていて、自分の意識を高めるというのが一番最も大事なことだと思いますから、その観点が多く取り入れられていることが非常に素晴らしい取り組みだと感じました。四つ目として、例えば否定されるのが嫌だなあという感想を持っている生徒に対し、その次のワークとして、じゃあ否定をされるって嫌だよ、ではどうやって相手に対してネガティブなフィードバックを否定にとらえられずに伝えるのだろうかというようにところを話し合ったりとか練習したりっていうのも次のステップで必要になってくると思います。そういった次に繋がる一緒に考えるような内容があればいいかなと考えました。

五つ目なんですけど、私は写真を使ったワークというものを他にもできていると思っています。ポジティブサイコロジーには人生における意味ってい〜meaning in life〜っていうワークがあります。自分自身の人生の意味とかその価値ってなんだろうと考えるものです。

自分自身の人生を意味づけをするもの、何が自分の人生の価値を与えてくれているのかを考え、その写真を9枚から12枚撮ってくるようにという指示を出し、一週間かけて写真を撮ってもらいます。それを持ち寄り、どうしてこの写真を撮ってきたのかを説明する文章を作成するというアクティブがあります。それを行なうと、その前後で実際にポジティブな感情が高まり、ネガティブな感情が下がるので、自分自身の人生が意味を持っていると感ずることができたりします。また、自分の人生にはどんな意味があるんだろうという探求が減ったりしたりもします。探し続けても仕方がない時ありますよね。それが実際下がるという研究データもあります。簡単なワークなんですけど、自分自身の視覚も通し、考えきっかけとしても紹介させていただきます。

まずは、今回の推進事業での取り組みは、体験がベースにある為、作業のタスクベースにある実際に何かするものっていうのが目の前に出る分、達成感であったり、何か新しい経験をする中で生徒さんたちもとても楽しかったという感想や発言があり、それが生徒の自信に繋がり、生徒のやる気のサイクルを加速させることになっているのは、非常に効果的で素晴らしい活動だと感じました。

最後に一点、さらに今後就労という点に関して考える中で、いろんな考え方があるので一意見として聞いていただきたいのですが、私自身の価値観として、「時間＝お金」ではないと感じています。今の若い子たちが40、50歳台になった時には、この「時間＝お金」という価値観はほとんど崩壊している状態ではないかと想像しています。自分がどのような付加価値を生み出すことができたのかが、お金の対価であるという価値観が主流になっているような気がしています。ですので、これだけの時間働いたらこれだけの賃金がもらえるという視点のみで指導してしまうと、本当に貧しい考えになってしまう恐れがあるので、その時間に自分がどのような付加価値を与えることができ、それに対してお金をもらうことができているという価値観を伝えていくというのも大切ではないかと感じています。その上で、実体験を通し、どのように付加価値を生み出せばよいのか、結果働くって何なんだろう、自分が何に価値を生み出しているのかなどと考える中で、前期に学んだ生き方や働き方を考えよう、自分の長所を見つけようなどが後期の実際の業務にどこまで紐付されているのかがとても重要になると思います。目の前で作業をするからお金を貰ってるということだけではなく、そのことが前期に学んだ働き方や生き方を考えるというところにどのように繋がっているのかというのを話し合いをさせたり、目の前の作業っていうものがただの作業ではなく、どういう意味があるのかな、なんの価値を生み出しているのかっていうのを考えられる機会を作り考えることは、将来を見据えた時に非常に重要になる視点かと思っています。

②林尻先生

関西のご報告を聞いてまず思ったのは、やはりこの世代の生徒さんっていうのはとてもアイデンティティを確立する上で一番大事な時期というところなのだと再認識しました。ただでさえそういう時期に実体験を通し達成感を味わうことができるこの取り組みは評価できると思います。この体験を通し、生徒の感情に何か芽生えたり、アイデンティティに少しでもプラスの影響があることはとても良いことだと思います。

私自身、体験型というのは非常に素晴らしい取り組みだと思っています。我々社会人も新しい取り組みをする時には周りのみんなの協力のもとおこなうことが多く、そういった流れの中で学ぶ機会を得ることができていることは生徒さんにとっては有意義な時間と言えらると思います。

私は大田区に事務所があるのですが、川崎の取り組みでパターン・ランゲージという勉強会をここ数年ずっとやっています。パターン・ランゲージというのは建設・建築用語だと思うんですけども、要は働く側、障害がある側と企業側が双方入れ替わって逆側の経験をするというものです。今までは知的障害の方を中心に障害者雇用を進めてきていましたが、昨年の四月から精神障害の法定雇用も算定ということで、精神障害も積極的に採用していきましようっていうことになり、精神保健福祉手帳の取得は従来までの知的障害、身体障害の雇用ということ以外に注目されています。精神障害は、簡単にいえばコミュニケーションの障害です。企業としてみたら、採用するのは構わないが、どのように接していいかわからな

いし、どのような準備をすればよいかなどわからないことだらけというのが本音だと思います。ですので、昨年の四月から就労移行支援のほかに就労定着支援というのが出来たことも、いかに精神に障害を持つての方の定着率を高めていく必要性があり、そのためにどのような取り組みが必要なのかを積極的に考えていかないといけないと実感しています。その様な状況の中で、この推進事業のように採用する側と採用される側というような逆の立場の経験、あるいはこういうロールプレイも含めた経験・体験というのは生徒さんにとっても印象的ですし、先生方にとってもすごくいい経験になるのではないかなと思いました。私もパターン・ランゲージの取り組みにずっと出ていますが、その体験した企業の方から精神障害の方を腫れもの扱いをしていた自分自身にとっても反省しているという生の声があったり、伝えるということ一つとっても健常者だからできる、障害者だからできないという単純なものではなく、もっと本質的な部分で検討が必要というような意見もあり、とても勉強になる機会となっています。すずから、当事者の経験だけでなく双方の経験がより深まることで理解がどんどん深まっていくことを期待したいですし、この大事なアイデンティティが確立されようとするこういう年代であればこそ、なおさらこのような学びの機会が必要だと感じました。

③伊藤先生

報告の中に他人を否定する、他人に否定されるというワークがありましたが、私の立場から見させてもらって感じることは、否定されるというのは神経症系の方にとってはかなり苦い体験としてトラウマになっている可能性が非常に高いと思います。

統合失調症の方においてはあまりピンとこない方も多いんですけど、疾患においてはかなり敏感なので、そのあたりの配慮はもっと細かく神経質に考え準備されるとよいと思います。パーソナルワークで我々も面談をやっているんですけども、お子さんに対してもやっぱりどういう位置がいいのか、どのような言葉がけがいいのか、どういう目線で向き合えばよいのかなどとても気を遣いながら治療していきます。やはり、パーソナルワークで先生方も体験してお子さんにあったような話しやすい、安心安全な場を作るパーソナルスペースっていうのを模索していく必要があるのかなというふうに思いました。

精神障害者手帳を持っている生徒さんがいましたが、コンスタントに出席ができるということで、不規則指導とかなり安定しているお子さんなのかなとは思いますが、やはり鬱剤を併用していますとその日その日の調子が不安定になりがちなこともあり、登校がままならないお子さんもいっぱいいるし、その日その日の取り組みや活動などの刺激に対し、不安を抱くお子さんはとっても多いので、そのあたりの配慮は教育的視点以外での配慮お言うのも意識していただきながら進めるべきだと思います。疾患別によっても対応の差がかなりあり、フォローの仕方も違うと思いますので、統合失調症の方とか鬱の方とか知的障害の方においてもその方の特徴を得ながらの先生方の対応をきめ細かくさせていただいたらどんどん伸びしろがあるのかなと思いました。

また、お金の管理に関してですが、総じて10台のお子さんは、お金の管理ができていません。お金の管理なんですけども、入院をしててやはり入院治療に対してコンビニに行きたいとかシャツが必要だからお母さんに頼みたいとか我々もお金の管理を入院治療ではしてないんですけども、十代のお子さん大体の方がお金の管理がすごくできないんですね。お金は湯水のようにわいてくると勘違いしているようなお子さん、お金の使い方や貯め方が理解できていないお子さんなど、一から教える必要があると思います。それに伴い就労に対しての知識をつけていく必要があると思います。このあたりについては、き

め細かく対応してあげる必要があると思います。就労に対して漠然とわかってないことが多く、自分の将来についても、ビジョンが漠然と具体的なではない為、このような体験を通し学んでいける機会というのはとても貴重な機会だと思います。じっくり腰を据えてお子さんに係る気持ちで、ご苦労は多いと思いますが、教員のみなさんも頑張っていただければと思います。

④東鬼先生

私の経験上、一番問題に感じているのは援助希求ができない子が多いということです。企業の方ともよく連絡をとりあってよくお話をしますが、業務にはいろいろなケースがあって、わからないことがあれば聞いてくれればいいのに聞けないとか方が多いとよく耳にします。ASPとかのお子さんは特にそういったタイミングで聞くことができないことを気にしてるのではないかと思います。

ADHDのお子さんなんかだと指示を一本に絞ってくださいとお願いをしたにも関わらず忙しいと、複数の指示が本人に行き、その結果本人はどれからやればいいのかわからなくなり、混乱してその場から帰ってしまって、そのあと一週間家出をしていなくなってしまうとかそんなケースもありました。

推進事業の取り組みで色々な体験をさせていることは素晴らしいことだと思いますが、援助希求の仕方とかメンタルの立て直し方、たとえばストレスコーピングをしっかりと教えてあげるとかそういうような自分のメンタルの立て直し方なんかにももう少し時間を割いてもいいのではないかなと思いました。

また、お金の管理に関しても特に双極性の子は要注意で、双極性で一気に使っちゃった後に気持ちが落ちてくると「あの時なんてことをしてしまったんだろう」ということになります。お金の管理はほかの学校で三年生にやらせていましたが、金融庁の方も使いやすい冊子や情報も仕入れることができますので、そういった内容も上手に使いながらやっていったらいいんじゃないかなと思います。

企業の方にもよく呼んでいただいておりますが、会社によっては手あかのついてない子が欲しいんだよねっておっしゃる方もいらっしゃるんですよ。手あかのついてないってなんなんですかその物の言いようはあっていったことがあるんですけども、やはり、困ったときに自分でどうするのかというのをそういうことを教えて欲しいということはよく言われます。電話のかけ方などのスキルアップをはあ k ることも大事ですが、将来を見据えメンタルの時間をもう少しカリキュラムに入れてもよいかなと思いました。前にもお話したかもしれないんですけども、話す際の距離感がやたらと近いなどははっきり伝え、教えていくしかないと思います。ロールプレイの中で学ぶというよりは、ハッキリこれはよし、これは駄目というようにはっきり伝えることも大事だと思います。

就労を前提としない実習をやらせてくれる企業はたくさんありますので、二日とか三日でも構わないので、本当に機が熟した段階でこういった経験をさせることもよいのではないかなと思いました。全く知らない人たちとの中で経験することは、成し遂げた時にはかなりの達成感が得られると思います。

【今年度の収穫】

- ①昨年度よりさらに教員の就労支援に対する意識が高まった。
- ②キャリアカウンセラーとの連携の必要性和双方の歩み寄りにより、生徒に寄り添った教育活動と就労支援活動のかたちが出来始めた。
- ③生徒が抱える多くの課題（発達障がい、規律性調節障がい、アスペルガー、統合失調症、コミュニケーション障がいなど）に対しての知識の向上とそれに対して決めつけることなく、教員同士横の繋がりをもって話し合う機会がととも増えた。

【来年度への課題】

- ①キャリアカウンセラーとの連携をより密にし、複数の視点を以って生徒に接し、就労支援のサポートを展開していく。
- ②2019年度は、推進事業3年目を迎え、この研究の完成年度と位置付ける年になるため、本校分校のみならず、関連校などへもこの活動を波及させていく。
- ③集団での活動が非常に難しい現状があり、3・4名のグループが理想のかたちであり、担当教員の数など物理的な問題も含め検討の余地あり。

以上